



西南学院大学博物館年報 第5号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.5

2012

 西南学院大学

巻 頭 言

大学博物館は研究・教育の拠点として、さらには「社会へ開かれた大学」を具現化するために、様々な取り組みをおこなっております。展示活動を通じて、研究成果の発信に努めるとともに、本学学生への教育も展開しています。

その活動実績として、特別展と企画展を2回ずつ開催するとともに、大学博物館で受け入れた博物館実習生による実習成果展をおこないました。また、西南学院小学校や近隣小学校に通う児童を対象とした「せいなんこどもワークショップ」も例年通り開催し、多くの児童が参加してくれました。これまでの活動を通じてPRをしてきたこともあり、特別展に訪れる方や公開講演会への参加者、ワークショップで集まる子どもたちなど、多くの来館者・参加者に恵まれています。ひとえに大学博物館の活動が地域に定着してきた成果と考えています。

また、こうした活動の成果を記録・発信するために、特別展図録や博物館ニュース、年報を発刊してきましたが、2012年度新規事業として「研究紀要」を刊行することとなりました。大学博物館で行なわれている博物館研究、ならびに大学博物館で勤務する大学院生たちの専門研究の成果を収めた一冊となりました。大学博物館は研究拠点であるという性格上、研究紀要の発刊は不可欠であり、開館して7年目にして形となり、公表することとなりました。あわせて、大学博物館のHPをリニューアルし、これまでの活動や刊行物をはじめ、旬な情報をリアルタイムで紹介するようにしています。冊子媒体とともに、インターネットにより、多くの方に大学博物館の研究成果や取り組みなどを発信していこうと考えています。

大学博物館では一昨年から学内GP「大学博物館における高度専門学芸員養成事業—日中韓の大学博物館調査—」、昨年から教育IP「実践力のある博物館職業人の育成事業」が採択され、大学博物館はもとより、地域博物館の調査をおこなっております。地域博物館からの視点を加えた大学博物館でおこなう学芸員養成のあり方を考えるプロジェクトとなっております。今年度も引き続きおこなっていくとともに、着実な成果を挙げていくものにしていくつもりであります。

2012年度も活動報告として本書を刊行することとなりました。引き続き、大学博物館の調査協力ならびに忌憚ないご意見をお寄せいただき、大学博物館運営にご指導・ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2013年10月30日

西南学院大学博物館

館長 宮崎 克則

2012年度事業報告

1. 展示活動

春季特別展

「大学博物館共同企画シリーズII 閉ざされた島 開かれた海 —鎖国のなかの日本」 実施報告



会期：2012年6月2日（土）～8月4日（土）
 会場：西南学院大学博物館特別展室
 主催：西南学院大学博物館
 共催：神戸大学海事博物館
 協力：船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

第11回特別展関連公開講演会

期日 2012年7月14日（土）
 時間 14：00～16：00
 会場 大学博物館2階講堂
 講師 安高啓明氏（本学博物館学芸員）「鎖国のなかの近世日本」
 野村昌孝氏（神戸大学准教授・神戸大学海事博物館専門員）

「神戸大学海事博物館コレクション紹介～海路図を中心にして～」

大学博物館共同企画シリーズII 「閉ざされた島 開かれた海 - 鎖国のなかの日本」

事業内容

本展覧会は、2011年度に玉川大学教育博物館とおこなった大学博物館共同企画シリーズの第二弾にあたるもので、神戸大学海事博物館と共同開催したものである。西南学院大学博物館と神戸大学海事博物館が所蔵する鎖国期の日本を象徴する資料を通じて、当時の日本を歴史的・文化的な視点から実物展示によって紹介するものである。

本事業は、例年通り、本学博物館で公開講演会を実施し、これにあたり神戸大学海事博物館から教員を派遣してもらった。工学系を専門とする講師の話は、これまでにない講演会となり、大変好評であった。また、前回シリーズと異なることは、本学での会期終了後に神戸大学海事博物館で巡回展をおこなった点である。本学博物館が所蔵する資料を中心に、特別展のダイジェスト版となる展覧会をおこなった。神戸大学海事博物館でもこれまでにない内容の展覧会だったようで、新しい連携の形を構築することができた。その結果、本学と神戸大学海事博物館での共同事業であるという色合いの濃い事業をおこなうことを可能とした。

なお、本事業は、海と船の博物館ネットワークから支援を受けている。巡回展をおこなうことによる経費のかかる部分を外部資金により補い、大学博物館連携の事業をおこなうことができた。

開催概要

神戸大学と西南学院大学には共通して大学博物館がある。今日、大学博物館は、社会に開かれた機関として、大学で挙げられた研究成果を社会還元することが求められている。これまで各大学博物館では特別展・企画展が開催されているとともに関連する公開講座などがおこなわれ、一定の成果があげられてきている。

こうした現状から次の段階へ進む取り組みとして、大学間交流における共同企画事業が必要である。西南学院大学博物館では2011年度秋季に玉川大学教育博物館と共同主催として大学博物館共同企画シリーズI「イコン—東西聖画像の世界—」を開催した。両大学が共通して所蔵するイコンを国・時代のジャンルごとに展示し、来館者により質の高い展覧会を提供することができた。また、講演会も実施し、両大学博物館の取り組み、研究成果を紹介する機会となった。

本展覧会はこれを踏まえて、神戸大学海事博物館と西南学院大学博物館の両博物館において、共通テーマのもとで相互の所蔵資料を展示し、両大学への理解、ならびにこれまでの研究成果を還元する機会になればと考えている。これまでの大学博物館単体での取り組みから枠を超えて、大学博物館共同で特別展を展開する事業を実施していくことが、新しい地域貢献、研究成果の還元につながるものと思っている。

そこで両大学博物館が共通する「海」と「船」からみた日本」をテーマに設定し、大学博物館所蔵資料を相互に展示し、特別展を開催することとなった。選りすぐりの貴重な資料から情報を発信していく。なお、本展覧会は、Part IIとして神戸大学海事博物館を会場にしてもおこなわれる。大学間交流の一指標としても今後シリーズ化して、事業展開していこうと考えている。

I. 近世日本の新時代

展示構想と手法

大学博物館共同企画という事業形態を出すために、入り口に両大学博物館長のごあいさつパネル

を掲示した。そして、展覧会で展示されている資料が会場に入る前にはわかるように模型を設置して来場前の参考としてもらった。入ってすぐに鎖国（海禁）を象徴する「出島図」を展示し、本展覧会の趣旨を導入時点で端的に伝えるようにした。



II. 閉ざされた日本と航海技術の進展

展示構想と手法

鎖国期においても四面を海で囲まれた日本は、海路や船舶でダイナミックな流通がおこなわれていた。このことを示す国内で造船された和船を描いた屏風や掛軸などを展示し、当時のリアルな姿を紹介した。また、内的なこととして、船筆筒や望遠鏡を展示することで、海とかかわる人間模様を浮き彫りにした。



III. 想いを込めた絵馬

展示構想と手法

本展覧会は江戸時代の人間模様のほかに心的部分も紹介する展示を目指した。これをあらわすものとして“船絵馬”を取り上げたが、間近でみる事ができるように、壁面に仮設ケースを設置して観覧に対する配慮をおこなった。これにあわせて、画像パネルも展示して、鑑賞の参考となるよう説明した。



IV. 開かれた海－鎖国の終焉

展示構想と手法

開国の訪れを反映するペリー来航時の様子を描いた絵巻を展示した。しかし、ケース内で開いて

展示するにはスペースが限られているため、それ以外の箇所を含めた全画像を紹介するパネルを展示し、見学時の参考となるように配慮した。また、2階講堂では神戸大学海事博物館を紹介するコーナーを設け、大学博物館の取り組みに対する理解を促した。

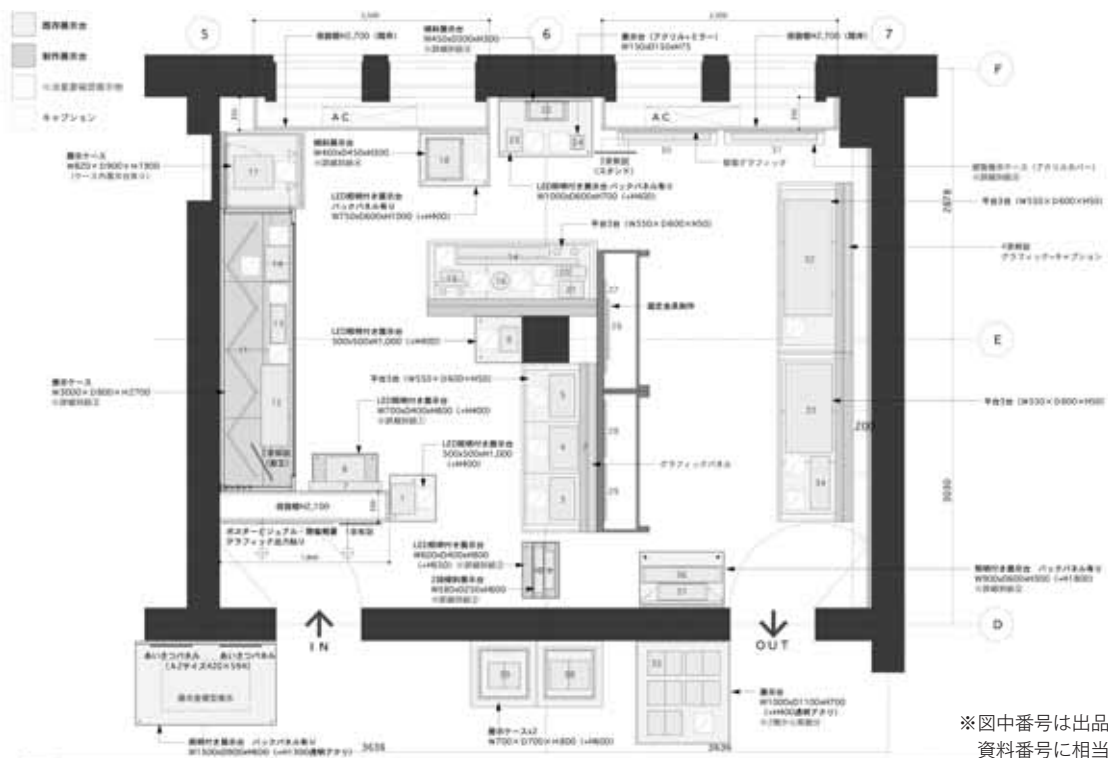


●神戸大学海事博物館会場での展示風景

「閉ざされた島 開かれた海—鎖国のなかの日本」part II
 主催：西南学院大学博物館 神戸大学海事博物館
 会期：11月2日（金）～12月12日（水）
 会場：神戸大学海事博物館



特別展室（西南学院大学博物館会場）平面レイアウト



※ 図中番号は出品目録の資料番号に相当する。

2012年度春季特別展 閉ざされた島 開かれた海—鎖国のなかの日本(会期:2012年6月2日~8月4日) 出品目録

	資料名	英 訳	年代	法 量	数量	所 蔵
1	原城紀事	Records of Shimabara-Amakusa Rebellion	1846(弘化3)年	26.7×18.7	1	西南学院大学博物館
2	肥前國五嶋転切支丹之類族存命帳	List of surviving Christians of the Goto Clan in Nagasaki	1776(安永6)年	27.0×19.8	1	西南学院大学博物館
3	宗門改影踏帳	Documents with the name of apostates	1831(天保2)年	31.8×22.4	2	西南学院大学博物館
4	出島図	Map of Dejima	1735年頃	26.0×32.0	1	西南学院大学博物館
5	キリシタン制札	Proclamation banning Christianity	1682(天和2)年	48.0×76.5	1	西南学院大学博物館
6	高札写	Transcription of an official bulletin board with the law prohibiting Christianity	1682(天和2)年頃	31.0×343.0	1	西南学院大学博物館
7	海路図屏風	Map of sea route from Osaka to Nagasaki	江戸時代	—	1	神戸大学海事博物館
8	自大坂至長崎之図	Map of sea route from Osaka to Nagasaki	1811(文化8)年	27.0×200	1	神戸大学海事博物館
9	大坂より豊前小倉までの海路図	Map of sea route from Osaka to Kokura	18世紀後半	27.0×198	1	神戸大学海事博物館
10	江戸長崎海陸図	Map of land and sea route from Osaka to Nagasaki	江戸時代	30.0×900	1	神戸大学海事博物館
11	御迎御座船屏風	Welcoming boats for nobles	江戸時代中期	128.0×269.6	1	神戸大学海事博物館
12	朝鮮通信使川御座船絵巻	Picture scroll of envoys from Korea's Joseon Dynasty arrive in Japan	18世紀	28.9×765.8	1	神戸大学海事博物館
13	川御座船寸法仕方書	Measurement documents of roofed pleasant riverboat	江戸時代中期	15.0×40.0	1	神戸大学海事博物館
14	西国大名御船御座船図並武将花押切抜帖	Book with illustrations of Saigoku Daimyo's ship and art signatures	江戸時代中期	25.3×18.6	1	神戸大学海事博物館
15	東西船路名所記	Records of sea route and the sights	江戸時代中期	11.0×16.0	1	神戸大学海事博物館
16	海路安心録	Documents of safety at the sea	1816(文化13)年	17.8×26.4	1	神戸大学海事博物館
17	望遠鏡(森仁左衛門作)	Telescope (made by Mori Jinzaemon)	18世紀初期	全長1.3m	1	神戸大学海事博物館
18	望遠鏡	Telescope	1861(文久元)年頃	全長33.0	1	神戸大学海事博物館
19	船筆筒	Sailor's chest	江戸時代	42.0×35.0×25.0(高さ・横・奥行き)	1	神戸大学海事博物館
20	瓊浦港碇泊之図	Picture of Nagasaki anchorage	明治時代	44.5×34.0	1	神戸大学海事博物館
21	磁石	Magnetic compass	—	直径18.0	1	神戸大学海事博物館
22	清俗紀聞	Records of Chinese customs and culture	1799(寛政10)年	24.7×18.0	1	西南学院大学博物館
23	紅毛人硯屏	Inkstone screen of a Dutch	19世紀	24.4×16.6	1	西南学院大学博物館
24	紅毛人ブラケット	Small wall hanging of a Dutch made of lacquer	19世紀	15.0×9.5	1	西南学院大学博物館
25	国宝扁額角倉船(模写)	Picture of Suminokura trading ship(copy)	—	60	1	神戸大学海事博物館
26	国宝扁額末吉船(模写)	Picture of Sueyoshi trading ship(copy)	—	60	1	神戸大学海事博物館
27	和船絵馬	Votive tablets of sailors	—	45.9×63.7	1	神戸大学海事博物館
28	和船絵馬	Votive tablets of sailors	—	74.4×98.7	1	神戸大学海事博物館
29	南蛮船奉納絵馬	Votive tablet of Westerner's ship	19世紀	60.0×91.0	1	西南学院大学博物館
30	南蛮人行列奉納絵馬	Votive tablet of Westerner's parade	19世紀	62.0×93.5	1	西南学院大学博物館
31	垂米利加船人物之図	Picture of the arrival of American ship	19世紀	50.0×300	1	神戸大学海事博物館
32	拂郎察軍艦全図	Picture of French ship	19世紀	50.0×300	1	神戸大学海事博物館
33	火輪大軍船図記	Picture of American warship	嘉永7年	570×20	1	神戸大学海事博物館
34	安政五ヶ国条約写	Transcription of Ansei Five-Power Treaties	—	25.8×18.3	5	西南学院大学博物館
35	萬国人物図会	Image of foreign people	19世紀	31.7×80.8	1	西南学院大学博物館
36	萬国一覽之図附人物風俗之節	Records of foreign customs and histories with the pictures	19世紀	35.8×48.6	1	西南学院大学博物館
37	ベッテルハイム訳聖書馬太伝福音書(複製)	Gospel of Matthew, J. B. Bettelheim version (Replica)	1855年頃	30.5×21.0	1	西南学院大学博物館
38	ゴープル訳聖書摩太福音書(複製)	Gospel of Matthew, J. Goble version (Replica)	1871年	27.0×17.0	1	西南学院大学博物館

秋季特別展 「キリシタン考古学の世界 - 今日に甦る祈りと叫び」 実施報告



会期：2012年10月19日（金）～12月15日（土）
主催：西南学院大学博物館

会場：西南学院大学博物館特別展室
共催：一般社団法人日本考古学協会

第12回特別展関連公開講演会

期日 2012年11月17日（土） 時間 14：00～16：00 会場 大学博物館2階講堂
講師 安高啓明氏（本学博物館学芸員）「キリシタン考古学の世界」
大石一久氏（長崎歴史文化博物館研究グループリーダー）
「日本におけるキリシタン墓碑の様相—とくに墓碑の編年と分布について」
松本慎二氏（南島原市教育委員会文化財課課長）「原城出土のキリシタン資料」

「キリシタン考古学の世界 - 今日に甦る祈りと叫び」

事業内容

本事業は、本学で日本考古学協会2012年度福岡大会が10月20日から22日にかけて開催されるのにあわせておこなわれたものである。フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸して以降、九州各地にキリシタン大名が誕生し、多くのキリシタンが生まれている。こうした状況をあらわすように、近年では各地でキリシタン考古学に関する成果が挙げられており、できる限りの資料を収集し、一堂に展示した。多くの考古学研究者が来館することになる時期に開催することで、最新の情報を提供するとともに、共有を図るものとして開催することとなった。

本展覧会開催にあたって、久留米市教育委員会、甘木歴史資料館、北九州市教育委員会、大分県歴史博物館、大分市埋蔵文化財センター、天草市教育委員会、唐津市教育委員会、波佐見市教育委員会、南島原市教育委員会、松浦史料博物館から協力を得て、各地で文化財指定をうけた資料を含めて一堂に展示することができた。九州でキリシタン考古学に関する成果を挙げている自治体や博物館との連携した内容の事業となった。また、共催に一般社団法人日本考古学協会にお願いし、関係自治体への周知や展覧会の質的向上につながった。

なお、本展覧会ではチラシをA3版2折と、これまでのA4版から規格変更した。こうすることで来館者により展覧会の理解を深めてもらうよう配慮した。

開催概要

九州県内にはフランシスコ・ザビエルを起源とするキリスト教文化が根付いていた。これらの地域には、特に熱心なキリスト教信者がおり、彼らによる確実な信仰の姿があった。これまでになかった思想の訪れは彼らの精神性にも変化をもたらしてしまうことになる。

しかし、キリスト教の伝播は長くは続かなかった。布教に続いて信仰が禁じられていたことは、大きな転換期となった。こうしたなかでも彼らはひそかに教えを守り継ぎ、最終的には島原・天草一揆という形となって表出した。原城を舞台に繰り広げられた攻防は、今日の発掘成果からも生々しい姿が浮き彫りとなっている。

島原・天草一揆によって、キリスト教の信仰は絶対的に禁止された。しかし、彼らのなかには形を変えながらも信仰を守ろうとしたものたちがいた。彼らがキリスト教を受容した背景には、中世以来からの海外交流の蓄積があった。

本展覧会では、キリスト教受容の背景から、信仰の証を紹介するとともに、キリシタンにとっても一画期となった島原・天草一揆における戦闘の実像について取り上げる。また、信仰の背景にあった中世における海外交易を博多・大分・島原・天草からの事例をもとに、キリスト教文化の地域との関連を見出していきたい。

I. 信仰の足跡

展示構想と手法

本展覧会でも会場入り口に展示室模型を配置し、来場前の理解を促した。また、キリシタン時代を象徴するものとして、府内病院模型や肥前国絵図を展示し、キリシタンが定着していた



当時のイメージをさせるように配慮した。本章では信仰をあらわす「メダイ」に焦点をあて、各地のメダイの共通点と相違点ができるように展示していった。



II 島原・天草一揆の痕跡 展示構想と手法

キリシタンにとっての画期となったのは島原・天草一揆である。戦乱の激しさを物語る資料とともに、原城跡から発掘されたキリシタンたちを示す遺物を展示し、文献資料と考古学遺物の両面から島原・天草一揆の実像に迫っていった。平面展示になってしまうため、壁面にはキリシタン墓碑の拓本を展示して立体的な展示空間をつくるようにしていった。



III 途絶えなかった祈り 展示構想と手法

キリシタン考古学とは一線を画すものの、潜伏期にキリシタンたちがどのように祈りを維持してきたのかを伝える展示とした。地域性もあわせて、長崎と天草の潜伏キリシタンたちの祈りの姿を紹介した。当時の厳しいキリシタン弾圧のなかで工夫して信仰していた実態を明らかにした。



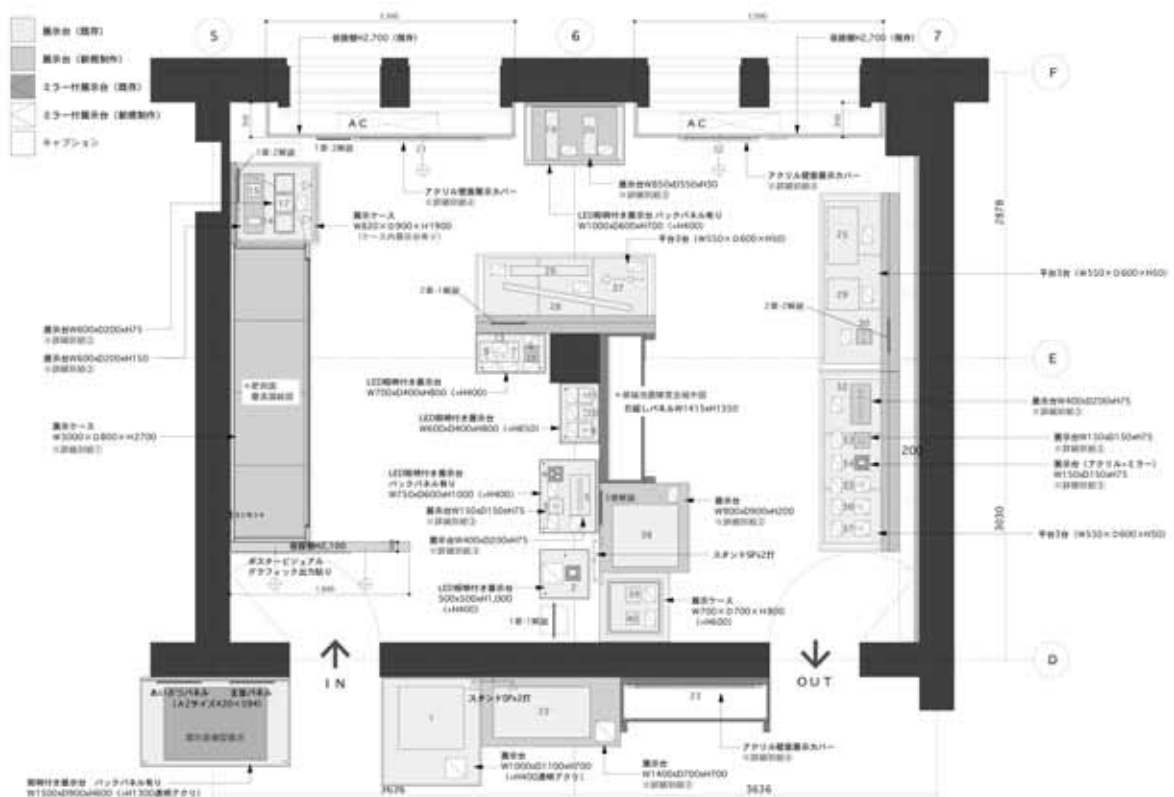
IV 海外交易の姿

展示構想と手法

九州と大陸との交流を紹介するコーナーを設け、貿易によりもたらされた文物を紹介していった。博多、天草、大分、島原といった各地にもたらされた陶磁器類を展示し、九州でおこなわれていたダイナミックな交易の姿を解説していった。また、本展覧会で展示された資料を所蔵する各自治体をはじめ、キリシタン関連遺物がある地域を地図でおこして、来館者への理解を促した。また、直接現地へ赴き、文化財を実見する機会を提示し、福岡から現地への人の流れを企図するコーナーとなった。



特別展室平面レイアウト



2013年度秋季特別展「キリシタン考古学の世界ー今日に甦る祈りと叫び」出品目録

序章. キリシタン時代の諸相

	資料名	英訳	数量	所蔵
1	肥前国慶長国絵図	Map of Hizen Province	1	松浦史料博物館

I. 信仰の足跡

I-1 祈りの証

	資料名	英訳	数量	所蔵
2	府内病院想定復元模型(複製)	Miniature of Funai Hospital	1	大分県立歴史博物館
3	メダリオン	Medal	1	天草市立天草キリシタン館
4	メダイ(府内型)	Medal	5	大分県教育庁埋蔵文化財センター
5	メダイ	Medal	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
6	メダイ	Medal	1	天草市立天草ロザリオ館
7	メダイ	Medal	2	福岡市埋蔵文化財センター
8	メダイ鑄型	Mold of medal	1	福岡市埋蔵文化財センター
9	メダイ	Medal	1	北九州市教育委員会
10	コンタ	Contas[Rosary]	2	大分県教育庁埋蔵文化財センター
11	コンタ	Contas[Rosary]	1	久留米市埋蔵文化財センター
12	クルスの掛鎖	Cross chain	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
13	指輪	Ring	2	南島原市教育委員会
14	指輪	Ring	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター

I-2 意匠に込めたもの

	資料名	英訳	数量	所蔵
15	花十字紋瓦	Roof tile with "flower cross" design	1	南島原市教育委員会
16	罪標付き十字架浮文軒丸瓦(秋月城)	Eave-end roof tile / Round-shaped roof tile with cross design	1	朝倉市教育委員会
17	十字浮文軒平瓦	Eave-end roof tile / Round-shaped roof tile with cross design	1	久留米市埋蔵文化財センター

I-3 信仰の果てに

	資料名	英訳	数量	所蔵
18	「INRI」銘入り石製十字架	Stone cross with an inscription of "INRI"	1	波佐見町教育委員会
19	石製台付十字架	Cross with stone pedestal	1	唐津市教育委員会
20	【拓本】市万田磨崖十字架碑	Rubbed copy of stone cross	1	個人
21	【拓本】正覚寺キリシタン墓碑群第一号	Rubbed copy of Christian gravestone	1	個人
22	【拓本】吉利支丹墓碑	Rubbed copy of Christian gravestone	1	個人
22'	吉利支丹墓碑(レプリカ)	Gravestone of Christian (Replica)	1	南島原市教育委員会

II. 島原・天草一揆の痕跡

II-1 伝えられる戦況

	資料名	英訳	数量	所蔵
23	原城攻囲陣營並城中図	Encirclement of Hara Castle	1	松浦史料博物館
24	天草筒	Amakusa-dutsu [Gun barrel]	1	天草市立天草キリシタン館
25	砲弾	Bullets	7	南島原市教育委員会
26	天草・島原の乱手負討死一件	Records of Amakusa-Shimabara Rebellion	1	天草市立天草キリシタン館
27	筑紫薙刀	Chikushi-naginata [Hatchet sword]	1	天草市立天草キリシタン館
28	原城紀事	Records of Hara Castle	1	西南学院大学博物館

II-2 戦場の跡から

	資料名	英訳	数量	所蔵
29	十字架(青銅製)	Cross	1	南島原市教育委員会
30	十字架(函)	Cross	1	南島原市教育委員会
31	十字架(鉛)	Cross	1	南島原市教育委員会
32	ロザリオの珠	Rosary	2	南島原市教育委員会
33	メダイ(表:ザビエル)	Medal	1	南島原市教育委員会
34	メダイ(表:キリスト)	Medal	1	南島原市教育委員会
35	メダイ	Medal	1	南島原市教育委員会

III. 途絶えなかった祈り

	資料名	英訳	数量	所蔵
36	潮かくしクルス	Cross hidden in the tide	1	天草市立天草キリシタン館
37	隠し十字仏	Image of Buddha carved with cross	1	天草市立天草キリシタン館
38	マリア観音像	Mary Kannon	1	西南学院大学博物館
39	キリシタン魔鏡	Magic mirror	1	西南学院大学博物館

IV. 海外交易の姿

IV-1 博多の交流

	資料名	英訳	数量	所蔵
40	中国・瑠璃釉小壺(博多90次)	Small pot	1	福岡市埋蔵文化財センター
41	タイ・白釉鉄絵皿(博多85次)	White glaze with iron	1	福岡市埋蔵文化財センター
42	中国・龍泉窯系青磁碗(博多築港線3次)	Celadon of Longquan	1	福岡市埋蔵文化財センター
43	中国・景德鎮青白磁筆架(博多139次)	Jingdezhen blue-white porcelain	1	福岡市埋蔵文化財センター
44	朝鮮王朝・褐釉陶器瓶(博多124次)	Brown glazed bottle	1	福岡市埋蔵文化財センター
45	高麗~朝鮮王朝・象嵌粉青沙器鉢(博多35次)	Buncheong ware bowl with inlaid inscription	1	福岡市埋蔵文化財センター
46	ベトナム・青花皿(博多172次)	Vietnamese Blue-and-white	1	福岡市埋蔵文化財センター

IV-2 天草の交流

	資料名	英訳	数量	所蔵
47	石製印鑑(本渡城跡)	Stone seal	1	天草市立天草キリシタン館
48	ベトナム産青花(棚底城跡)	Vietnamese Blue-and-white	1	天草市教育委員会
49	磁州窯系鉄絵壺片(河内浦城跡)	Cizhou iron glaze	1	天草市立天草コレジヨ館
50	ベトナム産鉄絵大盤(河内浦城跡)	Vietnamese underglaze plate with iron brushwork	1	天草市立天草コレジヨ館
51	華南三彩角瓶(三川城跡)	Color glazed square bottle of southern China	1	天草市教育委員会
52	緑地金襴手碗片(三川城跡)	Gold-painted green base porcelain	1	天草市教育委員会
53	五色大皿(三川城跡)	Five-colored plate	1	天草市教育委員会

IV-3 大分の交流

	資料名	英訳	数量	所蔵
54	華南三彩一神像形置物	Color glazed of southern China	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
55	華南三彩一駱駝形水滴	Color glazed of southern China	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
56	華南三彩一魚形水滴	Color glazed of southern China	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
57	華南三彩一馬形水滴	Color glazed of southern China	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
58	華南三彩一鳥形水滴	Color glazed of southern China	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
59	ミャンマー製黒釉陶器壺	Black glazed of Myanmar	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
60	タイ製白(クロツ)	Thai mortar	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター
61	ベトナム産白磁印花文碗	Vietnamese white porcelain	1	大分県教育庁埋蔵文化財センター

IV-4 島原の交流

	資料名	英訳	数量	所蔵
62	法花(日野江城跡)	Chinese colored porcelain Hoka	2	南島原市教育委員会
63	法花(日野江城跡)	Chinese colored porcelain Hoka	2	南島原市教育委員会

企画展

シーボルト著「日本」に描かれた考古・民俗資料 実施報告



会期：2012年8月7日(火)～10月10日(水)

会場：西南学院大学博物館

1階廊下前、2階講堂

この企画展は、シーボルト著「日本」に収められる絵画資料からテーマを見出し、画像パネルで紹介するものである。今回は、考古学・民俗学的見地から紹介するもので、中尾裕太(学内GP研究員)が担当し、安高啓明(本学博物館学芸員)が監修した。なお、本企画展は学芸員を目指す学生を養成するプログラムの一貫としておこなっている。



企画展 古写真でみる西南学院 part 2 実施報告



会期：2012年12月20日(木)～2013年5月15日(水)

会場：西南学院大学博物館1階廊下前、2階講堂

この企画展は、本学創立100周年を迎えるにあたって古写真から学院の歴史をたどるものである。創立期から第二次世界大戦といった歴史の変遷のなかで学院の歩みを紹介し、在学生はもとより、本学卒業生にも母校を知る機会となるように紹介していった。



2. 教育活動

博物館実習

実習概要

2012年度の博物館実習は、8月17日（金）から8月25日（土）までを基礎実習の期間とし、8月27日（月）から9月1日（土）まで実践実習をおこなった。

基礎実習としては地域博物館と大学博物館の違いを理解させたうえで、博物館運営が多様となっている事情を説明した。そして、学芸員の基本的な業務である調書作成や目録作成をおこなわせるとともに、資料の取り扱い方、撮影の仕方を含めて実物資料に触れさせながら指導していった。また、博物館刊行物のなかでも博物館ニュースの作成にあたらせ、自分たちで企画立案、文章作成、デザイン、レイアウトをおこない、直接、業者折衝も体験させた。刊行過程の説明を受け、刊行物がどのように出来上がっていくのかを理解させた。

また、基礎実習期間中には日本通運長崎支店から美術作業員を派遣してもらい、梱包実習をおこなった。作業前日は、和本の梱包・輸送方法を博物館学芸員から指導しているため、本年度は絵画と陶器の梱包指導を教えていただいた。専門業者からの直接指導は、大変参考になったようで、メリハリのある実習として毎年おこなっている。

実践実習では学生たちが考えた「ギョギョギョ西南☆海ステリー博」の準備期間にあてた。また、作業との兼ね合いをみて、九州国立博物館や観世音寺宝蔵、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館を見学し、これまでと違った視点で博物館展示の方法論や教育論を学ばせる機会をつくった。

【2012年度博物館実習生】

中野亜樹（神学部）／細川弥生子（神学部）／高橋一冬（法学部）／権藤理恵（法学部）／原口侑子（経済学部）／江崎麗（国際文化学部）／鳥越久美子（国際文化学部）／松井毬絵（国際文化学部）／吉村藍（国際文化学部）／渡邊紋子（国際文化学部）

【実習風景】



西南学院大学博物館博物館実習スケジュール (担当：博物館学芸員 安高啓明)

博物館実習(基礎実習):前期

	8/17(金)	8/21(火)	8/22(水)	8/23(木)	8/24(金)	8/25(土)
午前	9:45 博物館研究室集合	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備
	9:50 オリエンテーション	9:50 調書作成について	9:50 資料梱包と輸送	9:50 博物館刊行物について	9:50 企画書作成実習②	9:50
	10:30	11:00	11:00	10:20	11:00	11:00
	10:35 館内施設見学	11:05 調書作成実習①	11:05 美専車と輸送	10:25 刊行物作成実践①	11:05 展示レイアウト実習①	11:05
	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	11:35
昼 食						
午後	13:00 博物館活動と資料目録	13:00 調書作成実習②	13:00 資料梱包実習①	13:00 刊行物作成実践②	13:00 展示レイアウト実習②	13:00 展示レイアウト実習③
	13:40	13:40	14:30	14:00	14:00	14:30
	13:55 目録作成実習①	13:50 カメラの使い方(図録、目録、調書)	14:40 資料梱包実習②	14:10 刊行物作成実践③	14:00 ワークショップについて	14:40 展示レイアウト実習④
	14:25	16:00	15:10	15:10	14:20	15:40
	14:30 目録作成実習②	16:10 資料取扱いと展示	15:15 資料梱包実習③	15:20 企画展の作り方と教育PG	14:20 WS事前準備①	15:50 発表討論①
	17:30	17:00	17:00	16:20	16:00	17:30
	17:35 実習日誌作成	17:10 資料梱包と展示予備実習	17:10 展示実践②	16:20 企画書作成実習①	16:10 WS事前準備②	17:35 発表討論②
	18:00	18:00	18:00	18:00	18:00	18:00
	18:20 戸締り・点検	18:20 実習日誌作成	18:20 実習日誌作成	18:20 実習日誌作成	18:20 実習日誌作成	18:20 実習日誌作成
	担当 安高・吉松	安高・吉松	安高・吉松	安高・吉松	安高・吉松	安高・吉松

博物館実習(実践実習):後期

	8/27(月)	8/28(火)	8/29(水)	8/30(木)	8/31(金)	9/1(土)
午前	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備	9:45 準備
	9:50 実習生企画展を考える①	9:50	9:50 館外移動	9:50	9:50	9:50
	11:00	11:00 企画展作業⑤	10:30	11:00 企画展作業⑩	11:00 企画展作業⑭	11:00 展示作業①
	11:05 実習生企画展を考える②	11:05	10:30 館外実習(九州大学総合博物館)	11:05	11:05	11:05
	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00
昼 食						
午後	13:00 企画展作業①	13:00 企画展作業⑥	13:00 館外実習(九州大学総合博物館)	13:00 企画展作業⑪	12:30 企画展作業⑮	13:00 展示作業②
	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
	13:55 企画展作業②	13:55 企画展作業⑦	13:55 館外実習(九産大美術館)	13:55 企画展作業⑫	13:55 企画展作業⑯	13:55 展示作業③
	14:25	14:25	14:25	14:25	14:25	14:25
	14:30 企画展作業③	14:30 企画展作業⑧	14:30 館外実習(九産大美術館)	14:30 企画展作業⑬	15:30 企画展作業⑰	14:30 展示作業④
	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30
	17:35 企画展作業④	17:35 企画展作業⑨	17:35 館外実習(九産大美術館)	17:35 中間報告	17:35 企画展作業⑱	17:35
	18:00	18:00	18:00	18:00	18:00	18:00 オリエンテーション
	18:20 実習日誌	18:20 実習日誌	18:20 実習日誌	18:20 実習日誌	18:20 実習日誌	18:20
	担当 安高・吉松	安高・吉松	安高・吉松	安高・吉松	安高・吉松	安高・吉松

①8月17日(金)は言語教育センター4階博物館研究室に集合すること。基本的に博物館研究室で実施する。

②実習のなかで企画展を起案し、その成果を大学博物館館内で展示する。

③原則として欠席は認めないが、やむを得ない事情があれば考慮する。但し、8/22・8/29は必ず参加すること。

特別展企画書

氏名 江崎 麗

〈タイトル〉「日本のクリスマス～その起源と普及～」
 〈会 期〉11月1日～12月25日
 〈入場料〉大人600円 小人200円
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈後 援〉長崎市、朝日新聞社、不二屋、三越百貨店
 〈開催概要〉現在の日本で毎年当たり前のように祝われているクリスマスだが、大部分の日本人にとってのクリスマスのイメージと言え、恋人や友人と楽しく過ごす日であったり、ケーキを食べ、プレゼントを交換する日であったりする。本来、「クリスマス」というイベントがキリストの誕生日を祝うものであると認識している日本人はあまりいないのではないだろうか。そもそも仏教が中心である日本において、なぜ、どのようにしてクリスマスの習慣が普及していったのか。これをメインテーマに時代を江戸時代までさかのぼり、現代までの日本のクリスマス文化の変遷についてを各時代の関連資料とともに紹介する。また、サブテーマとして、日本独特のクリスマス文化に関する展示も行う。他国のクリスマス文化と比較し、日本でしか行われていないクリスマス行事や産業の視点を絡めた現代のクリスマス事情などについてを紹介する。この展示を機に、日本がどのように世界と関わってきたのか、また現代社会の在り方について、改めて考察してもらえればと考えている。

〈代表的な資料〉

- ・日本で最初にクリスマスを祝ったことが記されている古文書（鎖国時代の長崎における資料）
- ・明治・大正時代のクリスマスに関する新聞記事（日本で最初のクリスマスケーキ発売、百貨店でクリスマスプレゼントを買う人々について）
- ・明治～昭和にかけてのクリスマス関連商品
- ・現在日本で発売されているクリスマス関連商品

〈章設定〉

- 第1章 日本におけるクリスマスの起源（江戸時代）
- 第2章 クリスマスの大衆化（明治～昭和初期頃）
- 第3章 発展するクリスマス文化（戦後～現在）
- 第4章 「これって日本だけ？」オリジナルのクリスマス文化

〈教育プログラム〉

- ・「クリスマスケーキを作ろう！」「クリスマスリースを作ろう！」
親子をターゲットに、手作りのクリスマスケーキ、クリスマスリースを作ってもらおう企画。イベントはそれぞれ12月以降の土日で各1回ずつ行う。
- ・「サンタさんと遊ぼう！」
子供向けのイベント。サンタの格好をしたスタッフがクリスマスの絵本の読み聞かせやお菓子のプレゼントなどを行う。12月以降の土日で2回行う。

特別展企画書

氏名 権藤 理恵

〈タイトル〉「弁当の秘密」
 〈会 期〉3月10日～5月20日
 〈入場料〉大人600円 小人300円
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈共 催〉日本駅弁協会
 〈後 援〉西日本新聞社、JR西日本
 〈開催概要〉運動会、遠足、お花見一。日常のあらゆるシーンに登場し、人々の心を和ませてくれる弁当。また、全国各地で販売される駅弁は、旅の楽しみの一つになっているともいえる。昔から弁当は人々にとって身近な存在であった。弁当が人々の生活になくってはならないのはなぜだろうか。弁当誕生の秘密や、普及していった様子、注目されている弁当を時代ごとに紹介する。人々に愛される弁当の魅力を伝えたい。

〈代表的な資料〉

- ・各時代ごとの弁当の写真（弁当ミュージアム所蔵）
- ・弁当のレプリカ、弁当箱（日本駅弁協会所蔵）

〈章設定〉

- 第一章：弁当の歴史（どのようにして普及していったのか、当時の社会情勢と一緒に紹介）
- 第二章：弁当の舞台（登場シーン、役割）
- 第三章：弁当の現在（現在流行している弁当の一つである駅弁を紹介）

〈教育プログラム〉

- ・スタンプラリー
- ・クイズコーナー
- ・ワークショップ「オリジナル弁当を作ろう」（子供向け）
（いつ、どんなシーンで食べるのかテーマを設定し、食品サンプルを用いて、弁当を作る）
- ・クロスプラザ（食堂）で、各時代の弁当を期間限定メニューとして販売する

特別展企画書

氏名 高橋 一冬

〈タイトル〉身近に潜む印刷
 〈会 期〉9月1日～10月1日
 〈主 催〉西南学院大学
 〈後 援〉凸版印刷、DNP（大日本印刷）
 〈開催概要〉印刷というとどういう物を思い浮かべるだろうか。パソコンの横に置かれたプリンターを思い浮かべた人は多いだろう。しかし、紙にインクを置くだけが印刷ではない。印刷は私たちの生活の様々な所に使われている。この展覧会では、生活の様々な所で使われている印刷物を見ていく。また、現代では「水と空気以外には印刷できる」といわれるほど印刷技術は進歩している。このような印刷技術がどのように進化してきたのか見ていきたい。

〈代表的な資料〉

- ・身近な印刷物（包装材・建装材・紙幣）
- ・木版印刷・活版印刷の版
- ・ゲーテンベルクの聖書
- ・立体印刷された西南学院大学

〈章設定〉

1. 印刷の歴史 ①木版印刷
②活版印刷

2. 身近な印刷物

〈教育プログラム〉

- ・プリンターの仕組みについて解説
- ・木版印刷で印刷する
- ・お札を見る（紙幣に使われている印刷）

特別展企画書

氏名 鳥越久美子

〈タイトル〉「西條八十が描いた大衆音楽の世界
～戦前 戦中 戦後」
 〈会 期〉9月2日～12月5日
 〈入 場 料〉800円
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈共 催〉日本ビクター株式会社、日本コロムビア株式会社、神奈川近代文学館
 〈後 援〉毎日新聞社、日本経済新聞社、東京都

〈開催概要〉詩人、作詞家、フランス文学者として多岐にわたって活躍した西條八十。近年彼の再評価が進められているが、今回の企画展では作詞家としての彼の活動に焦点を当てていきたい。

西條八十は『当世銀座節』や『東京行進曲』、『銀座の柳』などモダン東京をうたったものや、『旅の夜風』などの映画主題歌、『若鷺の歌』や『決戦の大空へ』といった戦時歌謡（軍歌）など作詞家として制作した音楽は多数にのぼる。

しかし、そこには大衆文化という切っても切りはなせないものが存在した。企画展では八十が作詞した曲を時代毎に追うと同時に、大衆文化の風俗史としての「昭和」について来館者の方々の関心を深めていくことを目的とする。

〈代表的な資料〉

- ・書籍—『民謡の旅』『唄の自叙伝』（刊行された年のものを展示）
- ・歌詞カード（映画主題歌含む）—『東京行進曲』など
- ・新聞記事
—伊庭孝との流行歌論争（伊庭孝／西條八十が執筆した記事を一部ずつ展示）
「西條八十は絞首刑か？」というタイトルがなされた新聞記事（軍歌を数多く作詞したことが問題となって）
- ・各種レコード

〈章設定〉

- 第1章 流行歌作家となるまでのあゆみ（1892～1926）
- 第2章 「当世銀座節」に始まる作詞活動～ビクターレコード専属作詞家として（1927～1939）コロムビアレコードへ移籍
- 第3章 戦中期（1940～1945）
- 第4章 戦後（「青い山脈」レコード・歌詞カード展示）（1946～1970）
- 番外編 八十との黄金コンビで多大な音楽を残した作曲家・中山晋平（1887～1952）と古賀政男（1904～78）について

〈教育プログラム〉

1. 学芸員によるギャラリートーク
2. 帝京大学文学部教授筒井清忠氏による講演会
3. 子ども向けのワークショップでは西條八十が作曲した童謡を歌ってみるコーナーを設置

特別展企画書

氏名 中野 亜樹

〈タイトル〉「移り行くねこまんま」
 〈会 期〉8月1日～9月30日
 〈入 場 料〉大人 500円 小人 200円
 〈主 催〉西南学院大学博物館
 〈共 催〉ペットフード協会
 〈後 援〉西日本新聞、福岡市動物愛護管理センター

〈開催概要〉日本人の長寿命化はその食生活の変化が関係している。同様に食生活の変化により、寿命を延ばすことができた動物として猫が挙げられる。欧米の食文化の導入により、日本人の食生活は大きく変化した。しかし、時代と共に食生活が変化したのは人間だけではなく。かつて、猫たちはご飯にみそ汁をかけたり、カツオ節をご飯にまぜ込んだ“ねこまんま”を食べていた。そのような猫たちも、欧米からのキャットフードの登場により、食生活が大きく変化して日本は当初、ペットフード業界では遅れをとっていた。しかし現代では独自の開発や技術により日本のペットフードは海外からも注目されている。

本展覧会では、かつてのねこまんまを再現し、猫たちを支えてきたキャットフードの歴史をたどり、ペットフードの更なる進化に期待を寄せる。

〈代表的な資料〉

- ・ねこまんま（食品サンプルを使って）
- ・初期のドライフード（食品サンプルで復元）
- ・現代のドライフード（実物あるいは食品サンプル）
- ・現代のウェットフード（食品サンプル）

〈章設定〉

- 第一章：ネコまんま（キャットフード誕生以前）
- 第二章：初期のキャットフード
- 第三章：現代のキャットフード

〈教育プログラム〉

- ・ねこまんまや猫の缶詰の試食会
- ・野良犬・猫の殺処分問題などについての講演会（保健所の職員の方を招いて）

特別展企画書

氏名 原口 侑子

〈タイトル〉『SF少女漫画の系譜展』
 〈会 期〉9月～10月
 〈入 場 料〉大人800円 中・高生600円 小以下300円
 〈主 催〉西南学院大学
 〈後 援〉各出版社

〈開催概要〉少女漫画といえば、「恋愛」を思い浮かべる人は多いのではないだろうか。しかし、SFを題材にした少女漫画は意外と多い。特に80年代は、壮大なスケールのSF物が数多く誕生した。なぜ、そのような作品が多数生まれたのだろうか？同時代の少年漫画や実写映画、小説などもあわせて展示することで、時代背景をみていき、誕生の経緯を考察する。そして、90年代、00年代から現代まで、それらの作品はどのように受け継がれ、又形を変えて読まれているのかを見ていく。

〈代表的な資料〉

- ・各漫画の原稿のコピー
- ・生原稿
- ・年表のパネル
- ・80年代の小説・映画・少年漫画
- ・90年代の小説・映画
- ・00年～現在の小説・映画・漫画

〈章設定〉

- 一章：SFとは～80年代のSF少女漫画について
- 二章：90年代のSF少女漫画
- 三章：00年代～現在のSF少女漫画

〈教育プログラム・イベント〉

- ・80年代に活躍していた少女漫画家による講演会
- ・SF少女漫画ファンによる討論会
- ・アニメ化された作品の上映会

特別展企画書

氏名 細川弥生子

- 〈タイトル〉海に浮かぶ神秘的教会群
～五島列島の教会建築写真展～
- 〈会期〉7月22日（日）～9月23日（日）
- 〈入場料〉大人400円 子ども100円
- 〈主催〉西南学院大学博物館
- 〈後援〉文化庁、長崎世界遺産登録推進室
- 〈開催概要〉
長崎県の西方に浮かぶ五島列島にキリシタンが移住したのは完成9年11月28日（1798年1月14日）のことだった。大村藩家老、片山波江の指揮より、黒崎、三重の両村から108人が出帆し、六方の浜に上陸した（「大村領から五島へ渡った人たちの家系」木場田直（こばたすなお）著）。五島市観光協会によると、五島の島々の数は大小合わせて140余りあるという。その中から4つのエリアより教会群を選ばせていただいた。小値賀（おぢか）・宇久島（うくじま）エリア、中通島（なかどおりじま）エリア、久賀（ひさか）・奈留（なる）・若松島（わかまつじま）エリア、福江島エリアの4つのエリアより、小値賀教会、浜串（はまぐし）教会、中ノ浦教会、佐ノ原教会、焼崎（やけざき）教会、青方（あおかた）教会、大曾（おおそ）教会、頭ヶ島（かしらがしま）教会、奈留教会、南越（なんこし）教会、江上（えがみ）教会、大井ノ浦教会、旧五輪教会、玉ノ浦教会、貝津教会、水ノ浦教会、堂崎教会、半泊（はんどまり）教会の計18の教会群にスポットをあて、その地区ごとの歴史とともに写真をご覧頂きたい。撮影は教会写真家の白井綾氏による。五島列島の風土の中で建立されてきた教会建築の魅力を堪能いただきたい。
- 〈代表的な資料〉写真パネルによる展示
- 主な資料
- ・小値賀、宇久島エリア計1点（小値賀教会写真パネル）
 - ・中通島エリア計7点（浜串教会、中ノ浦教会、佐ノ原教会、焼崎教会、青方教会、大曾教会、頭ヶ島教会 写真パネル）
 - ・久賀・奈留・若松島エリア計5点（旧五輪教会、奈留教会、南越教会、江上教会、大井ノ浦教会 写真パネル）
 - ・福江島エリア計5点（玉ノ浦教会、貝津教会、水ノ浦教会、堂崎教会、半泊教会 写真パネル）
- 〈章設定〉
- I. 小値賀・宇久島地区
 - II. 中通島地区
 - III. 久賀・奈留・若松島地区
 - IV. 福江島地区
- 〈教育プログラム〉
- ・写真家白井綾氏と長崎総合科学大学教授林一馬氏によるトークショー
- 〈ワークショップ〉
- ・組木で遊ぼう！ミニチュア教会模型作り体験
小・中学生対象

特別展企画書

氏名 松井 毬絵

- 〈タイトル〉「絵本の水族館」
- 〈会期〉7月1日～8月31日
家族で来てほしいため夏季休暇中に開催
- 〈入場料〉大人500円 小人200円
- 〈主催〉西南学院大学博物館
- 〈共催〉マリワールド海の中道
- 〈後援〉西日本新聞社、書店、出版社
- 〈開催概要〉誰もが子ども時代に一度は読むであろう絵本。その中でも、海や川を舞台にした、水中の生き物が主役の絵本のみを集めて展示する。涼しげでかわいらしい世界観を感じてもらい、絵本そのものに興味を持ってもらうだけでなく、彼らが暮らす場所の環境や、命について考えるきっかけとしてほしい。また、家族で絵本に触れることで子どもや孫との絆を深めてほしい。水族館と連携することで水族館への関心が高まることも期待している。
- 〈代表的な資料〉
- ・絵本
 - ・絵画
 - ・絵本に関する生き物（実際の魚・生物）
- 〈章設定〉
- 1 川の流れ
 - 2 海の中へ（読書コーナーあり）
- 〈教育プログラム〉
- ・魚の飼い方講座
 - ・クイズ（生き物の生態・環境などについて）
 - ・折り紙・ペーパークラフトで魚をつくってみよう
 - ・講演会…水族館の学芸員など

特別展企画書

氏名 渡邊 紋子

- 〈タイトル〉「熱きライトスタンド～プロ野球・応援の過去と今～」
- 〈会 期〉2013年3月15日～5月31日（プロ野球開幕前から開幕後約2ヶ月間開催する。交流戦の期間とも重なるので、セ・パ両リーグに興味をもってもらうことができる。）
- 〈入 場 料〉大人800円、高大生500円、中学生以下無料
- 〈主 催〉西南学院大学博物館
- 〈共 催〉映像資料を提供して頂く各テレビ局、新聞社
- 〈後 援〉日本プロ野球機構
- 〈開催概要〉 1936年から、77年間の歴史がある日本プロ野球界。その歴史が刻まれていくのと同時に、応援するファンの間では球団独自の「応援スタイル」が確立されていった。「応援スタイル」が特に顕著なのは1975年以降、鳴り物による応援が始まってからだ。この展示ではまずプロ野球界の応援の歴史について触れる。そして、現在存在している球団を中心に、過去に存在していた球団の応援に関する資料を展示したい。球団ごとに風船、メガホン、タオル、ビニール傘を使い、スクワットやジャンプもするファンの応援は、一種の祭りであり無形文化財とも言える。この企画展を通して応援も変化を遂げてきたことを知ってもらい、今後のプロ野球をより一層盛り上げてほしい。
- 〈代表的な資料〉
- ・各球団の球団歌、よく歌われている歌の音源
 - ・各球団の応援映像、写真（球団によって特色が出ているものを選ぶ）
 - ・各球団の応援グッズ
- 〈章設定〉
- 第1章：応援の歴史
- 第2章：現12球団の応援スタイル
- 第3章：語り継ぎたい過去の応援
- 〈教育プログラム〉
- ・元プロ野球選手・小久保裕紀氏による講演会（前もって整理券を配布）
 - ・「応援にチャレンジ！スタンプラリー」
各球団の攻撃中、または7回裏の応援をやってみる。終えたらその球団マスコットのスタンプがもらえる。

特別展企画書

氏名 吉村 藍

- 〈タイトル〉『「死」に愛されたエリザベート』～ミュージカル「エリザベート」より～
- 〈会 期〉6月末～8月末まで（東宝版「エリザベート」の福岡での公演がこの会期なので相乗効果を狙って）
- 〈入 場 料〉大人600円 小人400円
- 〈主 催〉西南学院大学博物館
- 〈共 催〉東宝株式会社、宝塚財団
- 〈後 援〉西日本新聞社、RKB、オーストリア大使館
- 〈開催概要〉 ウィーン初演から20周年を迎えるミュージカル「エリザベート」。
- 死に愛されたオーストリア王妃エリザベートを中心にハプスブルク家が滅亡に向かっていく様子を壮大なスケールで仕上げ、エリザベートの死によって自由を手に入れる物語になっている。Michael Kunze（ミヒャエル・クンツェ）脚本・作詞、Sylverster Levay（シルヴェスター・リーヴァイ）の共同作品である同作は1992年ウィーンのアン・デア・ウィーン劇場で初演され、1996年には演出家・小池修一郎氏により宝塚歌劇団で日本初の上演を果たす。同演出家により、2000年には東宝が上映を開始する。日本での上演権を獲得した、この2つの「エリザベート」について宝塚版では、死（トート）を主役に設定している一方で東宝版は、エリザベートを主役にしているという相違点はあるもストーリーとしてはウィーン版を基盤としている。今回の展示では、なぜここまでミュージカルが愛され続けられるのか、「エリザベート」の誕生から、この世界感の魅力に触れてほしい。
- 〈代表的な資料〉
- ・ミヒャエル・クンツェによる脚本の記録
 - ・初演時のメディア批評論文
 - ・ミュージカル映像
 - ・ウィーン版・宝塚版・東宝版の比較パネル
- 〈章設定〉
- I. ウィーンで生まれた「エリザベート」
 - II. 2人の創作者によって世に出るまで
 - III. 日本における東宝版・宝塚版の比較
- 〈教育プログラム〉
- ・小池修一郎氏による講演会
 - ・瀬奈じゅんによるトークショー

博物館実習成果展Ⅳ

「ギョギョギョ西南☆海ステリー博」 実施報告

本学博物館では2012年度博物館実習生10名を受け入れた。本事業は基礎実習を経て行う実践実習のひとつで、実習生たちがひとつのテーマを決め、チームで作業にあたらせた。本年度は船の科学館から巡回展キッドを借用し、これをもとに、ストーリーを組み立て、補足解説をしながら、展示空間を組み立てていった。

展示資料となるキッドの性格上から、対象を子供向けとし、解説文にも注意をはらった。展示空間も画用紙などを効果的に使い、飽きさせないつくりとなった。どの資料もハンズ・オン可能なものであったことから、多くの子どもたちの来館があり、直接触りながら学ぶことができる良い機会となったように感じた。また、会期中には「せいなんこどもワークショップ」を開催し、展示への一層の理解を促すことができた。

企画展のポスター作成、展示解説の作成、ワークショップの参加といった一連の博物館活動に主体的に取り組ませたことによって、博物館学芸員の業務の理解につながったものと考えている。



【展示作業の様子】



【会場風景】



2012年度 せいなんこどもワークショップ概要

2012年度は計4回のワークショップをおこなった。特別展や企画展に関連した催しを展開し、西南学院小学校および西新近郊の小学校に通う児童の参加を多くいただいた。

第1回 6月25日（土） 船のペーパークラフトをつくろう

特別展「閉ざされた島 開かれた海 ―鎖国のなかの日本―」に関連して、日本が海と船とともに発展してきたことを学んでもらうため、ペーパークラフトで地球儀や船の作成を行った。参加者は地球儀の丸みに苦戦しつつも、楽しげに作業を行っていた。



第2回 9月29日（土） みんなのせいなんすいぞくかん

企画展「ギョギョギョ西南★海ステリー博」を見学し、その後、企画展に登場した海の生き物のシルエットのみを描いたぬりえに、自由に色を塗ってもらった。発想力豊かな個性あふれる作品ができあがり、皆のぬりえを貼ったパネルは非常に賑やかな1枚となった。



第3回 11月17日（土） せいなんウォークラリー

館内の展示・建物にまつわるクイズとヒントを書いたカードをもって、グループごとに館内ウォークラリーを行った。答え合わせの時間には、とくに自由記述の問題で参加者の自由な発想がみられ、博物館におおいに興味をもってくれたことがうかがえた。



第4回 12月1日（土） 粘土をつかった古代のモノづくり

体験型の「学習」という観点から、主に土器の用途や製作工程を説明した後、粘土をつかったものづくりを行った。弥生土器さながらの器から、アニメのキャラクターや恐竜まで、個性豊かな作品ができあがった。



2012年度博物館教職員活動記録

高倉洋彰 (本学博物館長・国際文化学部教授)

【著書】

- ・『一般社団法人日本考古学協会2012年度福岡大会研究発表資料集』(一般社団法人日本考古学協会、2012年10月) **【共編】**

【論文】

- ・「遣漢・遣魏使節の規模について」(『東アジアの文物』第2集、2012年10月)
- ・「踏絵の形態 — 紙踏絵の紹介と検討 —」(『一般社団法人日本考古学協会2012年度福岡大会研究発表資料集』2012年10月)
- ・「踏絵の形態 — 紙踏絵の紹介と検討 —」(『一般社団法人日本考古学協会2012年度大会研究発表要旨』2012年10月)
- ・「銅鏡展示の問題点 — 鏡面展示の試み —」(『西南学院大学博物館研究紀要』創刊号、2013年3月)
- ・「『続日本紀』の筑紫尼寺」(『年報太宰府学』第7号、2013年3月)
- ・「多胡古麻呂、ほか」(『大宰府人物志』、2013年3月)

安高啓明 (本学博物館学芸員)

【論文】

- ・「鎖国のなかの近世日本」(『閉ざされた島 開かれた海—鎖国のなかの日本』西南学院大学博物館、2012年6月)
- ・「『天草・島原の乱手負討死一件』にみる原城攻防と藩認識」(『キリシタン考古学の世界—今日に甦る祈りとさげび』西南学院大学博物館、2013年10月)
- ・「大学博物館組織論 — 法規と類型 —」(『西南学院大学博物館研究紀要』創刊号、2013年3月)

【資料紹介】

- ・資料紹介「西南学院大学博物館所蔵「宗門御改影踏帳」(1)」(稲益あゆみと共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』創刊号、2013年3月)

貞清世里 (博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士後期課程)

【論文】

- ・「南海道の法起寺式伽藍配置をとる古代寺院の検討」(『西南学院大学博物館研究紀要』創刊号、2013年3月)

【研究助成】

- ・本学大学院国際文化研究科2012年度「先進研究奨励」費(研究課題「古代寺院の伽藍配置の意義」)

中尾祐太 (博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士後期課程)

【研究ノート】

- ・「福岡県下における弥生時代の掘立柱住居」(『西南学院大学博物館研究紀要』創刊号、2013年3月)

【研究助成】

- ・本学大学院国際文化研究科2012年度「先進研究奨励」費(研究課題「集落の変遷と都市の成立過程—弥生時代集落の研究—」)

稲益あゆみ (博物館臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士前期課程)

【資料紹介】

- ・資料紹介「西南学院大学博物館所蔵「宗門御改影踏帳」(1)」(安高啓明と共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』創刊号、2013年3月)

【研究助成】

- ・本学大学院国際文化研究科2012年度「先進研究奨励」費(研究課題「明治維新の「英雄」はいかにつくられたか—「英雄」として語られる高杉晋作—」)

博物館刊行物・成果物

春季特別展図録

A4版
52頁
3,000部発行
発刊日
2012年6月2日



目次

ごあいさつ
西南学院大学博物館 館長 高倉 洋彰…………… 2
神戸大学海事博物館 館長 内田 誠…………… 3

開催概要…………… 4
目次・凡例…………… 5

本編
I. 近世日本の新時代…………… 6
II. 閉ざされた日本と航海技術の進展…………… 16
III. 想いを込めた絵馬…………… 28
IV. 開かれた海—鎖国の終焉…………… 32

寄稿 神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館の取り組み
神戸大学大学院海事科学研究科准教授 野村 昌孝…………… 41
鎖国のなかの近世日本
西南学院大学博物館 学芸員 安高 啓明…………… 45

出品目録…………… 50

秋季特別展図録

A4版
52頁
3,000部発行
発刊日
2012年10月19日



目次

ごあいさつ
西南学院大学博物館 館長 高倉洋彰…………… 2
開催概要…………… 3
目次・凡例…………… 4

本編
序. キリシタン時代の諸相…………… 5
I. 信仰の足跡…………… 6
II. 島原・天草一揆の痕跡…………… 16
III. 途絶えなかった祈り…………… 24
IV. 海外交易の姿…………… 27

寄稿 日本におけるキリシタン墓碑の様相
長崎歴史文化博物館研究グループリーダー 大石 一久…………… 36
原城出土のキリシタン資料
南島原市教育委員会文化財課 課長 松本 慎二…………… 40
「天草・島原の乱手負討死一件」にみる原城攻防と藩認識
西南学院大学博物館 学芸員 安高 啓明…………… 47

出品目録…………… 50

西南学院大学 博物館年報 第4号

A4版
48頁
1,000部発行
発刊日
2012年9月30日
ISSN 1884-8885



目次

巻頭言…………… 3
2011年度事業報告
1. 展示活動
春季特別展「九州のキリスト教シリーズⅢ
海流に魅せられた島 天草一祈りの原点とキリシタン文化—」実施報告… 5
秋季特別展 大学博物館共同企画シリーズⅠ
「アイコン—東西聖像画の世界—」実施報告…………… 10
企画展 シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON～年中行事
実施報告…………… 15
企画展 古写真でみる西南学院 part 1 実施報告…………… 16

2. 教育活動
博物館実習…………… 17
2011年度 せいなんこどもワークショップ概要…………… 23
2011年度 博物館教職員活動記録…………… 25
博物館刊行物・成果物…………… 27
博物館講堂使用状況…………… 31

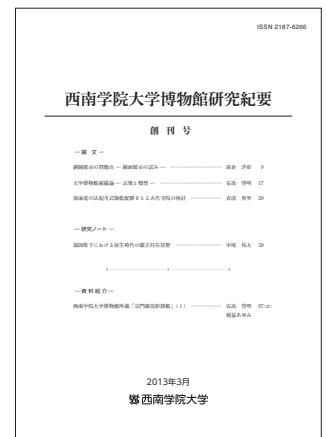
3. 調査・研究…………… 32

4. 来館者動向
来館者統計…………… 35
特別展期間中来館者動向…………… 36
来館団体一覧…………… 41

5. 広報活動…………… 43
2011年度 寄贈・購入図書一覧…………… 44
西南学院大学博物館職員…………… 46

西南学院大学 博物館研究紀要

A4版
100頁
1,000部発行
発刊日
2013年3月31日



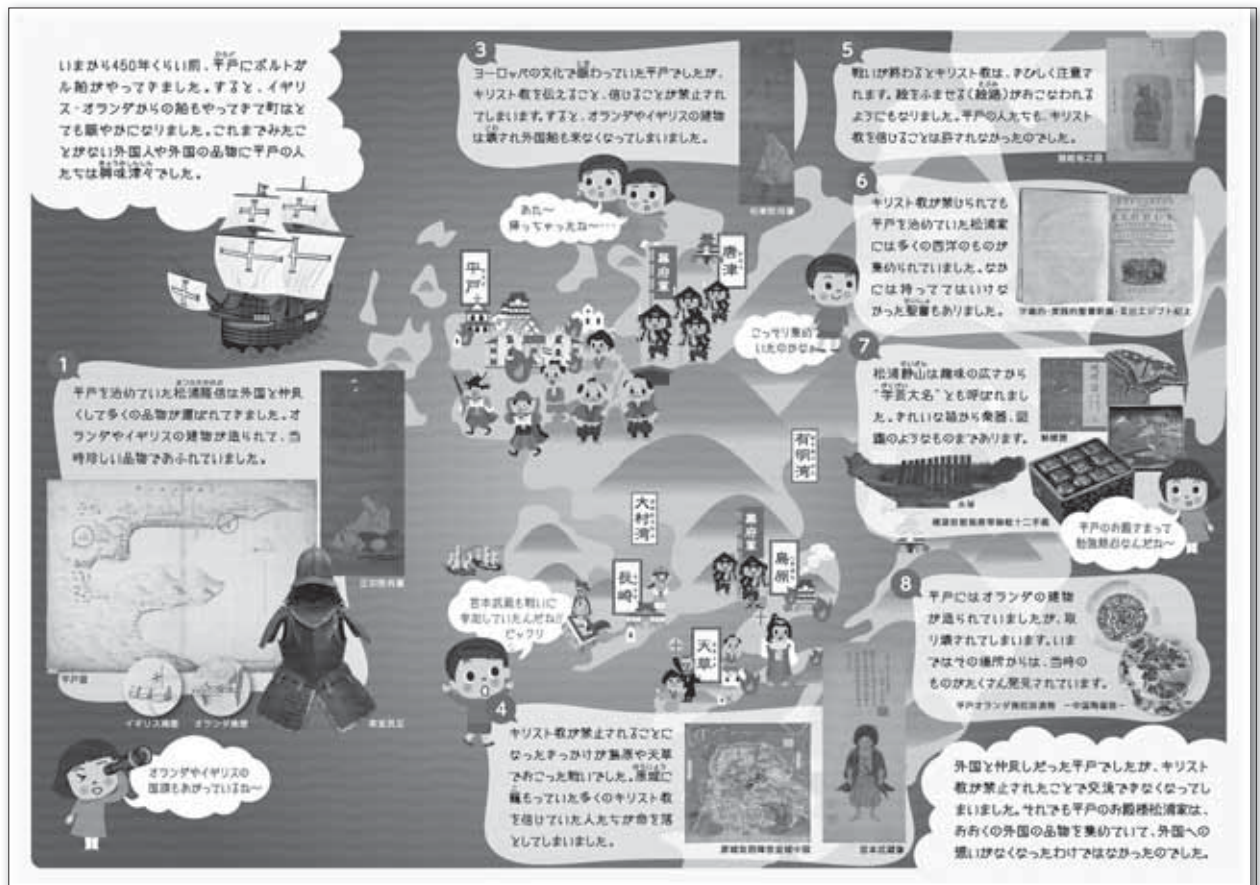
目次

— 論文 —
銅鏡展示の問題点 — 鏡面展示の試み — 高倉 洋彰 …… 9
大学博物館組織論 — 法規と類型 — 安高 啓明 …… 17
南海道の法起寺式伽藍配置をとる古代寺院の検討 真清 世里 …… 29

— 研究ノート —
福岡県下における弥生時代の掘立柱住居群 中尾 祐太 …… 39

— 資料紹介 —
西南学院大学博物館所蔵「宗門御改路帳」(1) 安高 啓明 …… 97
稲益あゆみ

子ども用パンフレット「平戸松浦家の名宝と禁教政策-投影された大航海時代とその果てに-」【30000部発行 発刊日2012年6月】



博物館ニュース Volume.11

【2,000部発行 発刊日2012年6月】



Volume.11
 特集：近世日本を反映した長崎土産 紅毛人ブラスケット
 博物館紹介Ⅺ：建築様式
 特別展紹介：閉ざされた島 開かれた海 - 鎖国のなかの日本 -
 所蔵品紹介：紅毛人ブラスケット
 大学博物館紹介⑩：秋田大学附属鉱業博物館
 大学周辺情報⑩：季節を彩る憩いの場 本館前広場

博物館ニュース Volume.12

【2,000部発行 発刊日2012年9月】



Volume.12
 特集：南蛮文化に想いをはせて… 南蛮人行列奉納絵馬
 ヴォーリス建築を求めてⅠ：西南女学院 マロリー記念館
 企画展紹介：シーボルト著「日本」に描かれた考古・民俗資料
 所蔵品紹介：南蛮人行列奉納絵馬
 大学博物館紹介⑪：立正大学博物館

博物館ニュース Volume.13

【2,000部発行 発刊日2012年12月】



Volume.13
 特集：出島園 西洋との唯一の窓口
 ヴォーリズ建築を求めてⅡ：明治学院チャペル（礼拝堂）
 特別展紹介：キリシタン考古学の世界—今日に甦る祈りとさげび—
 所蔵品紹介 出島園：西洋との唯一の窓口
 大学博物館紹介⑫：大阪商業大学商業史博物館



博物館ニュース Volume.14

【2,000部発行 発刊日2013年3月】



Volume.14
 特集：救済の聖母子 フィリピン／19世紀
 ヴォーリズ建築を求めてⅢ：九州学院（講堂）
 特別展紹介：港市平戸松浦家の名宝と禁教政策 —投影された大航海時代とその果てに—
 所蔵品紹介：救済の聖母子 フィリピン／19世紀
 大学博物館紹介⑬：関西大学博物館



博物館講堂使用状況 (2012年度)

期日	使用時間	使用団体(者)	集会名称	人数
4月1日(日)	10:00~17:00	MI・らん・NE	声楽コンサート	46名
4月4日(水)	10:00~12:00	神学部	2012年度 神学部始業礼拝および開講講演会	85名
4月11日(水)	9:00~10:30	西南学院中学校1学年	学院オリエンテーション	230名
4月24日(火)	10:30~14:00	入試課	写真撮影	8名
5月19日(土)	15:30~16:30	福岡・デンマーク友好協会	総会およびチャリティーコンサート	140名
5月23日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア	練習	16名
5月26日(土)	12:00~16:00	広報・連携課(広報係)	読売新聞読書教養講座 公開講演会(最上葉月さん)	110名
6月2日(土)	13:30~16:30	西南学院大学碧波寮OB会	西南学院大学碧波寮OB会	50名
6月7日(木)	8:30~17:20	国際東アジア考古学会(SEAA)	第5回国際東アジア考古学会世界大会	305名
6月8日(金)	8:45~12:30	国際東アジア考古学会(SEAA)	第5回国際東アジア考古学会世界大会	35名
6月9日(土)	8:45~17:30	国際東アジア考古学会(SEAA)	第5回国際東アジア考古学会世界大会	45名
6月10日(日)	8:45~13:00	国際東アジア考古学会(SEAA)	第5回国際東アジア考古学会世界大会	30名
6月13日(水)	9:00~10:30	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	44名
	13:45~14:00	卒業アルバム委員会	写真撮影	17名
6月14日(木)	11:10~11:40	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	51名
6月15日(金)	9:00~10:30	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	51名
	9:30~10:30	国際文化学部 宮平望教授	「キリスト教学」講義	41名
6月17日(日)	10:00~11:00	福岡県歴史教育者協議会	歴史教育研究会フィールドワーク	16名
6月20日(水)	9:00~10:30	国際文化学部 宮平望教授	「キリスト教学」講義	70名
	11:10~12:40	国際文化学部 宮平望教授	「アメリカ思想」講義	180名
	11:10~12:40	経済学部 村岡伸秋教授	「演習」講義	20名
	16:40~18:00	チャペルクワイア	練習	17名
6月27日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア	練習	15名
6月29日(金)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	定期演奏会リハーサル	30名
6月30日(土)	15:00~17:00	西南学院高等学校2年J組	文化祭用映画の撮影	17名
	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	定期演奏会リハーサル	43名
7月1日(日)	13:00~18:30	バツハコレギウム	定期演奏会	341名
7月4日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア	練習	15名
7月14日(土)	14:00~16:00	西南学院大学博物館	特別展関連公開講演会	45名
8月4日(土)	11:00~19:00	総務課	小山いくさんを偲ぶ会(小山先生奥様)	110名
8月26日(日)	11:00~18:00	アンサンブル ソナール・カンタンド	コンサート	65名
9月15日(土)	9:45~13:30	キャンパスサポート西南	結婚式	58名
9月22日(土)	10:00~17:00	キャンパスサポート西南	結婚式	73名
9月29日(土)	13:00~18:00	合唱団「宙の木」	コンサートリハーサル	15名
10月6日(土)	15:00~17:00	合唱団「宙の木」	合唱コンサート	48名
10月10日(水)	12:30~13:30	朝日新聞社	撮影	3名
10月12日(金)	10:40~11:10	入試課	大牟田北高校PTAの学校訪問ならびにオリエンテーション	50名
10月17日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア	練習	18名
10月24日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア	練習	20名
10月27日(木)	14:00~16:00	法学部 田村元彦准教授	講演会	41名
10月28日(日)	10:00~17:00	吉崎克彦 福岡教室	コンサート	109名
10月31日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア	練習	20名
11月1日(木)	13:15~14:15	国際学会AZEC	国際シンポジウム「人文系と自然系博物館の教育連携」施設見学	50名
11月10日(土)	13:00~17:00	チャペルクワイアOB・OG	古澤嘉生先生を偲む会	20名
11月17日(土)	14:00~16:00	西南学院大学博物館	特別展関連公開講演会	83名
11月22日(木)	12:30~14:10	山田志桜里	ブログ掲載用写真撮影	4名
11月30日(金)	9:00~10:30	国際文化学部 今井尚生教授	「キリスト教学」講義	43名
12月1日(土)	10:00~10:30	西南学院大学博物館	せい・なん・こどもワークショップ	21名
12月7日(金)	9:00~10:30	人間科学部 古田雅憲教授	「児童文学」講義 朗読発表会	60名
12月11日(火)	10:30~12:00	信愛女学院高等学校	大学説明会	40名
12月19日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア	練習	16名
1月9日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア	練習	27名
1月10日(木)	12:00~17:00	フォトオフィスabc	写真撮影	7名
1月18日(金)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	定期演奏会練習	55名
1月19日(土)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	定期演奏会練習	50名
1月20日(日)	13:30~18:30	福岡バツハコレギウム	定期演奏会	311名
1月21日(月)	12:00~17:00	フォトオフィスabc	撮影	6名
1月22日(火)	10:00~17:00	神学部授業 教会音楽研究A、C	オルガン練習	7名
1月23日(水)	10:00~17:00	神学部授業 教会音楽研究A、C	実技試験	7名
1月26日(土)	13:00~17:30	国際文化研究科院生会	国際文化研究科冬季研究発表会	29名
2月4日(月) ~25日(月)※ 土日祝除く	10:00~13:30	チャペルクワイア	練習	18名
2月15日(金)	13:30~15:00	神学部	青野太潮教授最終講義	190名
3月12日(火)	10:00~13:00	就職課	就職課主催 学内採用セミナー	38名
3月22日(金)	13:30~15:00	神学部	2012年度 神学部卒業礼拝	110名
3月23日(土)	10:00~13:00	キャンパスサポート西南	結婚式	80名
3月28日(木)	9:30~11:00	新田祥子	結婚式前撮り	4名
3月30日(土)	12:30~17:00	MI・らん・NE	コンサートリハーサル	10名
3月31日(日)	10:00~17:00	MI・らん・NE	コンサート	110名
毎週月曜日	10:30~12:30	神学部	2012年度 神学部チャペル	—
毎週水曜日	16:20~18:00	チャペルクワイア	練習	—
	13:30~16:40	神学部非常勤講師 福田のぞみ	神学部授業 教会音楽研究A、C	—

3. 調査・研究

教育IP採択をうけて

大学博物館が西南学院大学に申請した「実践力のある博物館職業人の育成事業」（2012年～2014年度）【取組代表者：高倉洋彰 取組担当者：安高啓明】が採択された。本事業は、地方公共団体や財団、民間が運営する博物館・美術館を訪れ、各博物館が大学・大学博物館に望む学芸員養成のあり方を調査するもので、大学と現場の博物館とのギャップを把握することとともに、これを解消するように、独自のプログラムを策定し養成に取り入れていくものである。また、最近の博物館の展示手法や教育プログラムなども調査し、本学博物館に反映できるものについては取り入れる仕組み作りをおこなっていく事業である。

取組概要

大学博物館を問わず、全国の博物館の機能には社会貢献事業がある。この社会貢献には①特別展を開催することによって研究成果を地域還元する能動的なもの。他方、②地域からの要請をうけてこれに応える受動的な働きがある。本学博物館は、これまで館長・学芸員を中心として①特別展の開催については一定の成果を挙げているものの、②地域からの要請については十分に応えることができていないのが現状である。

その問題を解消するために、大学博物館において地域との連結部分を担う「博物館職業人」という人材育成をおこなうことが必要である。それには専門的な知識・技術を身につけていることはもちろん、博物館での現場経験を積ませることが大切である。また、地域に根ざした活動実績を挙げていくことが不可欠であり、コミュニケーション能力のある広い視野をもった“博物館職業人”を育成しなくてはならない。

本学では学芸員課程が開講されており、多くの学芸員資格をもつ人材を輩出している。しかしながら、博物館に就業できた卒業生は極めて少なく、在学中にできる限り博物館業務に携わらせることが、彼らの採用時の業務実績として評価されることにつながる。そこで、本事業に学生・大学院生に参加させることによって、彼らの業務実績・研究実績を積み、外部機関からも評価を得やすい取り組みをおこなっていく。

学芸員は研究者である。これまで本学大学院国際文化研究科が「行動力を持つ人社系研究者の育成」（2007年）を採択され、多くの大学院生が参加し、報告書を刊行して成果を発表している。また、大学博物館は、学芸員に求められる高度な専門性に対応するカリキュラム策定のための「大学博物館における高度専門学芸員養成事業」（2011年）が採択されている。これらと相互にリンクさせるなかで、「博物館職業人」を養成し、実践教育のもと、目に見えるかたちでの人材育成、地域貢献の成果をあげていく。

その具体的な成果として、①地域資料の目録化②参加者による特別展の開催のふたつを本事業の目標にかかげ、確実な成果として対外的にも発信していくつもりである。また、将来的に本事業に参加した学生、大学院生が博物館等の教育施設に入職できる手助けとなる取組みとしていくことにする。

教育IP ヒアリング調査

(表)

博物館調査票			
博物館名			
館種	設置者		
設立年月日	指定	登録・相当・類似	
所在地			
連絡先		TEL:	FAX:
		URL:	MAIL:
学芸員業務	業務内容		
1. 学芸員数 2. 分野 3. 業務内容			
常設展示テーマ			
所蔵資料分野		所蔵資料点数	
①		年度	人
②		年度	人
③		年度	人
④		年度	人
⑤		年度	人
開館時間		休館日	
運営・活動実績			
① 特別展(企画展)実績			
②			
③			
④			
⑤			
刊行物の名称			
①			
②			
③			
④			
講演会・教育PG等実績			
①			
②			
③			
④			

(裏)

ヒアリング内容	
あり なし	
大学との連携について	
取り組み事例	
実践例	①学芸員養成について
大学(大学博物館)にのぞむこと	②博物館運営について
作成日	年 月 日
作成者	(本学) 協力校担当者

学内GP調査状況

2012年度は国内および国外の大学博物館の調査（ヒアリング・施設見学）をおこなった。国外では韓国の大学博物館を調査し、学芸制度のあり方や大学博物館との関係などを含めてヒアリングしていった。2012年度に調査をおこなった大学博物館については下記の通りである。

2012年度調査実績

10月25日（木）

ノースアジア大学雪国民俗館

調査員：安高啓明

11月8日（木）

追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアム

調査員：安高啓明・山尾彩香

大阪商業大学商業史博物館

調査員：安高啓明・山尾彩香

11月9日（金）

大阪大谷大学博物館

調査員：安高啓明・中尾祐太・山尾彩香

大阪青山歴史文学博物館

調査員：安高啓明・中尾祐太・山尾彩香

関西大学博物館

調査員：安高啓明・中尾祐太・山尾彩香

11月10日（土）

大阪大学総合学術博物館

調査員：安高啓明

京都国際マンガミュージアム

調査員：山尾彩香

大阪大学適塾記念センター

龍谷大学龍谷ミュージアム

調査員：中尾祐太

12月2日（日）

釜山大学校博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・中尾祐太・川野真理・謝婧・方圓

12月3日（月）

啓明大学校博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・中尾祐太・川野真理・謝婧・方圓

嶺南大学校博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・中尾祐太・川野真理・謝婧・方圓

12月4日（火）

ソウル大学校博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・中尾祐太・川野真理・謝婧・方圓

崇実大学校キリスト教博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・中尾祐太・川野真理・謝婧・方圓

12月5日（水）

東亜大学校博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・中尾祐太・川野真理・謝婧・方圓

12月13日（木）

大阪音楽大学 音楽博物館

調査員：安高啓明

12月14日（金）

神戸大学海事科学部海事博物館

調査員：安高啓明

神戸大学海事科学部進徳丸メモリアル

調査員：安高啓明

神戸大学海事科学部梅木ホール

調査員：安高啓明

2013年1月30日（水）

千葉経済大学地域経済博物館

調査員：安高啓明

日本大学松戸歯学史資料室

調査員：安高啓明

1月31日（木）

日本工業大学工業技術博物館

調査員：安高啓明

2月1日（金）

麗澤大学付属廣池千九郎記念館

調査員：安高啓明

日本大学理工学部科学技術史料センター

調査員：安高啓明

2月12日（火）

金沢大学資料館

調査員：安高啓明

金沢美術工芸大学美術工芸研究所

調査員：安高啓明

2月13日（水）

富山大学和漢医学研究所民族薬物資料館

調査員：安高啓明

富山大学薬学部附属薬用植物園

調査員：安高啓明

2月14日（木）

新潟大学旭町学術資料展示館

調査員：安高啓明

日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館

調査員：安高啓明

2月19日（火）

立命館大学国際平和ミュージアム

調査員：安高啓明・貞清世里・山尾彩香

立命館大学末川記念会館

調査員：安高啓明・貞清世里・山尾彩香

京都伝統工芸大学伝統工芸館

調査員：安高啓明

2月20日（水）

奈良大学博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・山尾彩香

天理大学天理参考館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・山尾彩香

天理大学創設者記念館

調査員：安高啓明・貞清世里・山尾彩香

2月21日（木）

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・山尾彩香

大谷大学博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・貞清世里・山尾彩香

2月22日（金）

和歌山大学紀州経済史文化史研究所

調査員：安高啓明

和歌山大学・学生創造科学センター（クリエ）

調査員：安高啓明

2月27日（水）

長崎大学経済学部分館武藤文庫展示室

調査員：高倉洋彰・安高啓明・中尾祐太・方圓

2月28日（木）

長崎大学医学分館近代医学史料展示室

調査員：高倉洋彰・安高啓明・中尾祐太・方圓

長崎大学150周年ミュージアム

調査員：高倉洋彰・安高啓明・中尾祐太・方圓

長崎大学熱帯医学研究所熱帯医学ミュージアム

調査員：高倉洋彰・安高啓明・中尾祐太・方圓

長崎大学薬学部お薬の歴史資料館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・中尾祐太・方圓

3月1日（金）

長崎純心大学博物館

調査員：高倉洋彰・安高啓明・中尾祐太・方圓

3月8日（金）

桜の聖母短期大学コングレガシオン・ド・ノートルダム記念室

調査員：安高啓明

3月13日（水）

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館

調査員：安高啓明

東京工業大学博物館

調査員：安高啓明

電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム

調査員：安高啓明

3月14日（木）

東京理科大学近代科学資料館

調査員：安高啓明

東京女子大医科大学吉岡彌生記念館

調査員：安高啓明

3月15日（金）

上野学園楽器展示室

調査員：安高啓明

東京大学大学院農学生命科学研究科附属農場博物館

調査員：安高啓明

3月16日（土）

東京農工大学科学博物館

調査員：安高啓明

4. 来館者動向

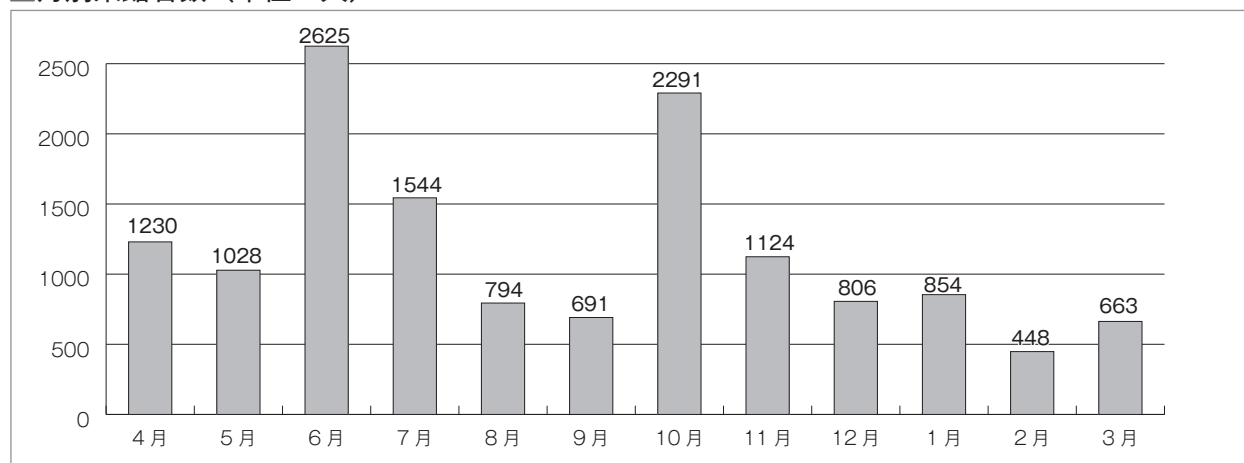
来館者統計

開館以来来観者数 **92,599人**
 2012年間来館者数 **14,098人**
 2006~2011年年度来館者数 78,501人
 前年度人数 14027人 (前年度比 +0.5%)

■2012年度 月別来館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	26	28	28	27	23	24	28	26	21	22	24	26	303	
学内	教職員	92	70	67	28	4	84	54	18	7	6	8	439	
	本学学生	764	279	888	336	105	111	318	379	193	172	108	3868	
	学内小計	856	349	955	364	109	195	372	397	200	178	116	4307	
学外	大人(一般)	326	539	1036	646	444	240	1012	443	285	604	297	6304	
	他大学生	37	33	280	7	62	6	26	13	62	30	9	567	
	高校生	4	22	305	494	139	209	842	264	235	11	12	2538	
	中学生	0	0	2	10	22	2	31	0	1	5	0	73	
	小学生	2	79	36	13	13	37	3	2	22	19	13	251	
	幼児	6	6	11	10	5	2	5	5	1	7	1	59	
	学外小計	375	679	1670	1180	685	496	1919	727	606	676	332	447	9792
海外居住者	47	35	42	176	137	14	4	14	73	108	25	11	686	
男女比	男性	166	144	298	236	211	93	395	236	120	101	86	85	2171
	女性	176	163	312	254	273	192	196	218	155	102	73	74	2188
	不明	888	721	2015	1054	310	406	1700	670	531	651	289	504	9739
合計	1230	1028	2625	1544	794	691	2291	1124	806	854	448	663	14098	

■月別来館者数 (単位：人)



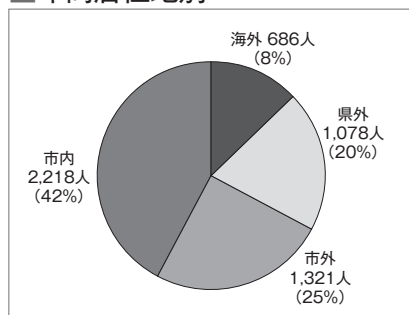
■月別開館日数 (単位：日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	28	28	27	23	24	28	26	21	22	24	26	303

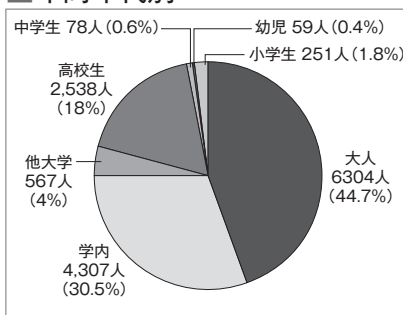
■月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
47.3	36.7	93.76	57.2	34.5	28.8	81.8	43.2	39.4	38.8	18.7	25.5	46

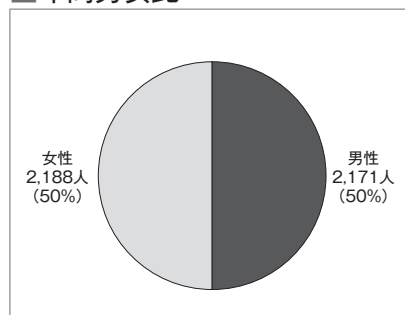
■年間居住地別



■年間年代別



■年間男女比

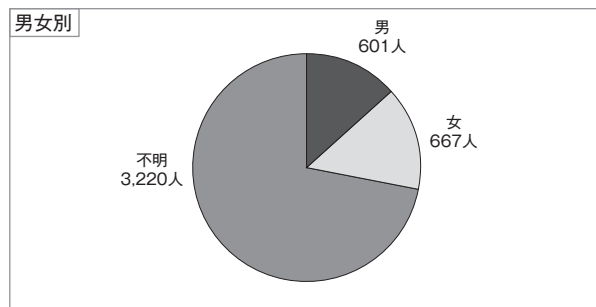
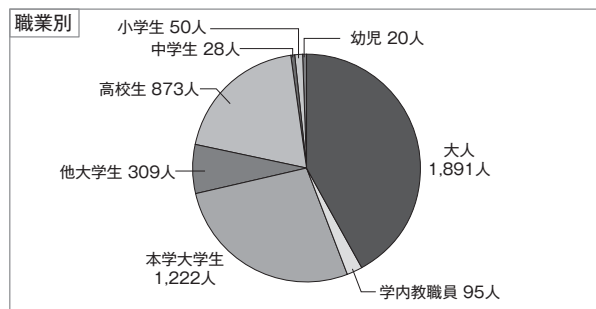
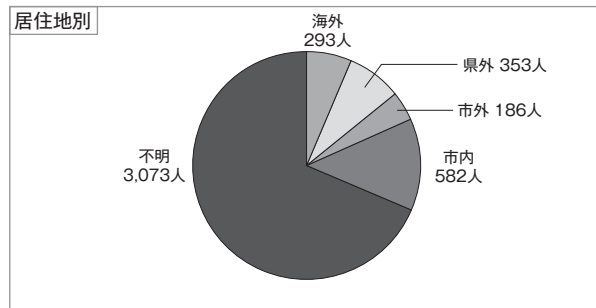


特別展期間中来館者動向

■第10回特別展

春季特別展『閉ざされた島 開かれた海
—鎖国のなかの日本—』

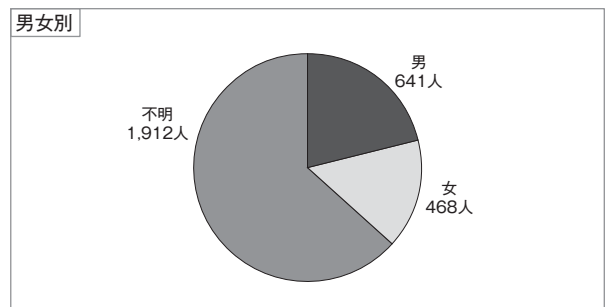
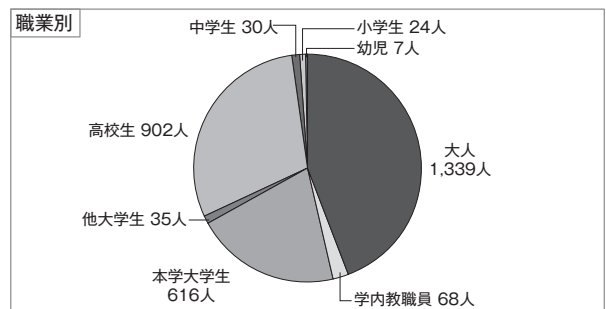
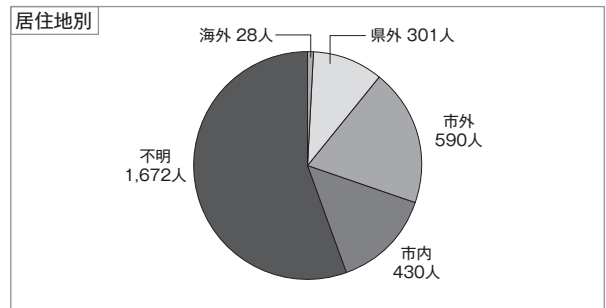
開催期間：6月2日～8月4日
開催日数：59日 総来館者数：4488人



■第11回特別展

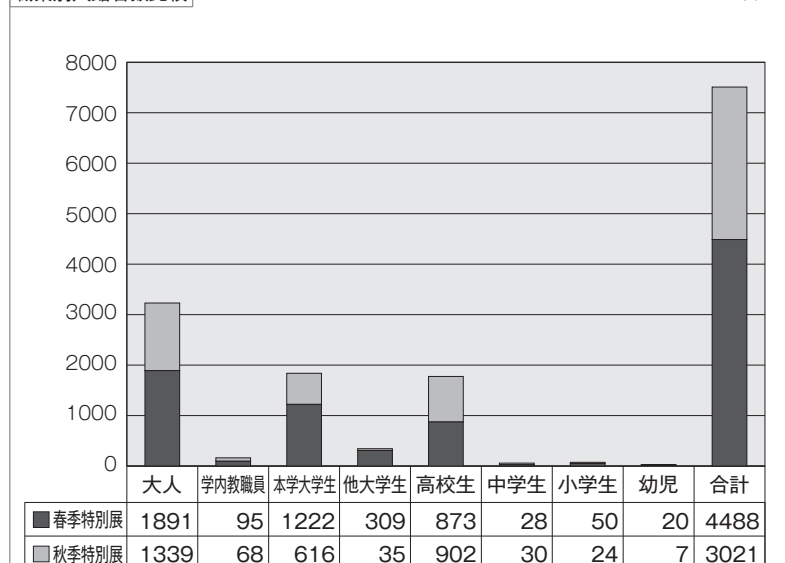
秋季特別展『キリシタン考古学の世界
—今日によみがえる祈りと叫び—』

開催期間：10月19日～12月15日
開催日数：52日 来館者数：3021人



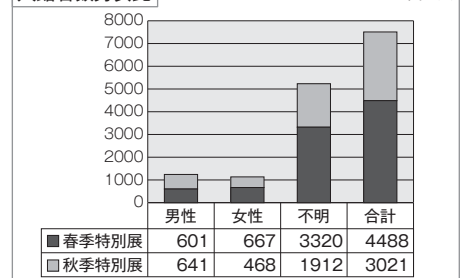
■2012年度春季・秋季特別展 入館者数比較

職業別入館者数比較



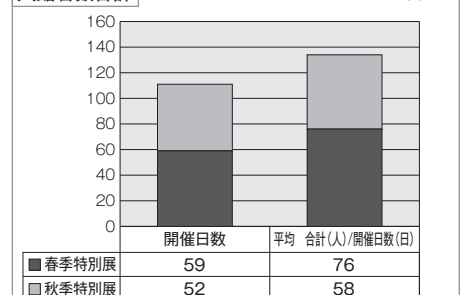
単位:人

入館者数男女比



単位:人

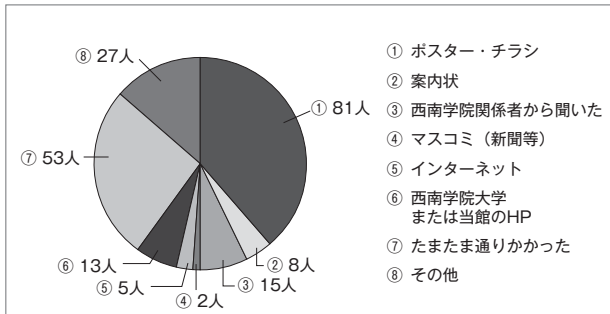
入館者数合計



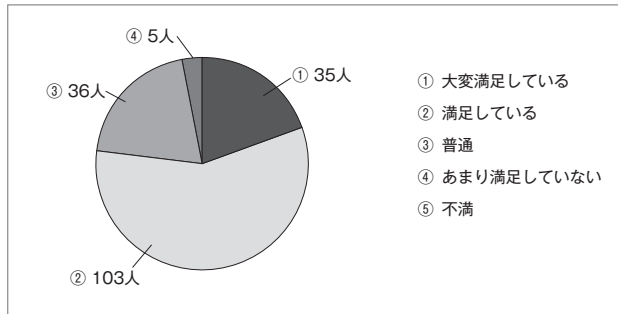
単位:人

2012年度春季特別展 『閉ざされた島 開かれた海 ―鎖国のなかの日本―』アンケート集計

1. 本日の特別展をどのように知りましたか。(複数回答可)



2. 特別展の内容についてお答えください。



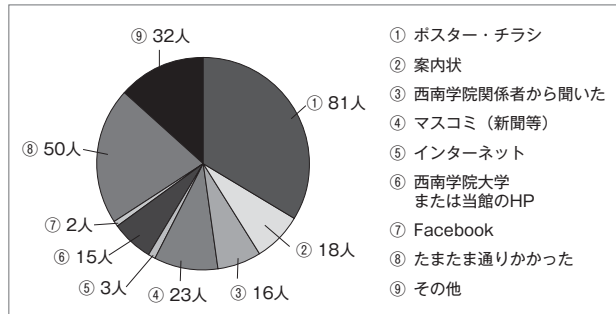
3. アンケート

年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展	自由記入欄
38	男	勤労者	各博物館の所蔵品を展示してあるが、テーマが今一つ見えてこないため			
46	女	その他	展示物の配置や説明書きが分かりやすかった	全て 望遠鏡は楽しかったし航路図は興味深かったし、万国人物図鑑は面白かった。その他すべて印象的だった		いつも見に来てます。楽しみにしています。
45	男	勤労者	いろいろ資料がきれいに保存されていることに驚いた。	望遠鏡、絵馬、安政の五力国条約		
47	女	勤労者	複製物が少なかった	美人面を貼ったタンス、望遠鏡		
21	男	本学学生	展示物が少ない	特になし		
54	男	勤労者	鎖国とキリスト教との関係がわかりました	船乗荷	仏教とキリスト教の両立があったのか?	
19	女	本学学生		船乗荷		
41	男	勤労者		アメリカ人の似顔絵、全身絵		
64	女	その他	鎖国状態は分ったが開国をせまってきた国々の事、キリスト教をたづねて来たのか、ついてはキリスト教ですか?	高札、絵馬、これは大きいのか小さいのか、人々に見せるための大きさか?禁止文が寺子屋での勉強材料とおもしろい。常設のところは何回見ても良いですね。写本は昔の人の書写、信仰心を感ずれます。		鎖国といってもそれなりに上級の方々はおランダを通じ中国とか其の前はスペイン・ポルトガル...交流もあったんですね。鎖国という名が悪いですね。
54	男	勤労者	良かった点:日本と貿易国とのつながりがわかる貴重な資料 悪かった点:展示物にはあまり強い照明をあてられないので仕方ないですが解説文が暗く読みにくい所があった	高札、人物改帳など	キリスト教建築(教会など)の日本における歴史	また伺います
52	男	その他	出島の図			
67	女	その他	いろいろ教えていただいた			
—	女	その他	絵馬師がいたこと、航海の安全のため絵馬を寺院に奉納していたことを初めて知ることができた	たすきが楽になりました。美人面をのせている所を見て、当時はどんな思いでいたのかと考えました	プロテスタントの歴史とか。キリスト教の歴史の中でも西南のバプテストの由来もふくめて知りたい	毎回楽しみにしております。次回も期待しています
21	男	本学学生	展示の目玉がどれかわからない	紅毛人破屏	フランス革命	
21	女	本学学生	身近ですばらしい作品が見られるからです!	わからないはずの時代に模写などの絵の細かい描写がないか? あるいは作品やパリスとの往来書好通商条約(?)の複製(?)が実際に見れてよかったです!	坂本龍馬の特別展(これにキリスト教をおりませる感じですか?)	もっと多くの方(特に本学学生)に良さを知ってほしいです!
21	女	学生	教科書で見たことのあるような身近なものを含め、たくさん資料があってもよかったです。	万国人物図とその下の風俗のやつ。		
18	女	学生	色々な資料があつて、勉強になった。		今までの西南の歴史	
18	女	本学学生	たくさんの聖書が見れた	ロゼッタ石		
50	男	勤労者	建学の歴史と深い関係のある大学間の共催	多くのレプリカ		
67	男	その他	フランス軍艦図			
66	女	その他	海図や船関係の記録、図が詳細であること、海資料が大変興味深かった/資料作成の年が記されると良いと思いました。いつ(何年)がわかりにくい資料がいくつかあり、ちょっと残念でした。	海図、絵馬、望遠鏡、最初の邦訳聖書	やはり近況、鎖国が本当はなぜ行われたかキリスト教の布教と日本のあり方を押しつけて追求出来る資料を知りたいです。	特別展は毎回楽しみにしています。常設展もぜひは訪問させていただいています。ユダヤ教資料は興味深いです。
19	女	本学学生	鎖国体制時の日本にとって南蛮から入ってくるものは大変貴重であり、多大な影響を受けた事を知れた点	望遠鏡、望遠鏡(デザインが素敵でした)		いつもピアノを使わせていただきまして、ありがとうございます。
78	男	その他	絵画等貴重な資料を見ることができた			
43	男	その他		常設展のキリスト教関連と出島の絵	キリスト教に関するもの	
63	男	自営業	当時の海路図が見られた。大阪一小倉全航路が見れるのもよかったです。	海路図、高札当時500枚ほどのくらの価値?米何俵?		
18	男	本学学生	その時のアメリカがどのようにかんがえられていた、もしくはどのように描かれていたかわかった			
37	男	勤労者	実物を見られる機会が貴重だとおもいます。	航路図とペリー関係の展示		
46	女	自営業	鎖国当時のキリスト教について興味深く思いました。	海路図		
54	男	勤労者	解説が詳しくあった			
38	男	その他	珍しい展示史料を観られ、かつ近世の「鎖国」と海運に対するイメージが得られた			
60	女	その他	このようなところがあるのがはじめて知りました。キリスト教など宗教的なものはさげさまに扱われてきたが、触れ合える機会が貴重だとおもいます。	建物がすごいなあと思いつつ歩いてきました。書き物が手書きか印刷か不思議に思っています。		昔、高校のものだったかなあと話しております。庭の百合を見て美しいといっております。
38	男	本学学生	絵馬とその原図が並べて展示されていたこと。	御座船の絵巻に興味を持った。		
68	男	その他	海洋図日本の礎を築いたのが、キリスト教であったことを認識出来たこと。	種なしパンと袋、海越船の血と酒杯(勿論ワインも含め)	西南学院大学の創立時からの歴史および功績	パイオルガンによるコンサート
65	男	その他	普段見ない資料をみれた	高札、フランス等の船の絵		
39	男	勤労者	説明と資料のバランスがよく、見やすかった	聖米利加人物之図	チャールズ・ケルシー・ドージャー氏の生涯	
52	男	勤労者	当時のロマンを感じた 揺るぎの海を感じた	聖米利加人水夫・南米米利加人黒人水夫の絵 どちらも股間に手をそえている。かゆいのだろうか?南蛮虫かしらなんでしょうか。当時の日本人の絵師の感覚・観察がするどい。		3Fからパイオルガンの音色。よかったです。
58	男	勤労者	初めて目にする資料があった	絵馬	キリスト教と日本文化をテーマとした展示会	
55	男	勤労者	貴重で珍しい文獻、展示物が多かった	出島図ははじめて見た図、船人物の図も	①他のキリスト教系の大学との連携②九折の連携	建物も素晴らしいです。
47	女	勤労者	限られたスペースで多くの資料をわかりやすく陳列されている。	船乗荷、望遠鏡、海路安全録、東西航路名所記		亡くなった父も西南卒業なので、生前話していた高校生活をなつかしく、肌で感じる事ができました。
86	男	自営業	めったに見られない資料の展示	ダビデ以来の年表、南蛮船、角倉船などの絵		
61	女	その他	キリスト教布教という信念、富の貿易のため、大航海をして西から東へ移動、危険にもさらされるから、大志を抱き、乗っ取られたですね。	南蛮人絵馬 紅毛人破		
50	女	勤労者	展示の前にミニチュアがあり、まわるのに参考となった。		聖書のエピソードを描いた絵画展(女性のエピソード中心がおもしろそう)	
28	男	勤労者	スペースは小さいながらも、資料がきちんと展示され、まとまっていた為。	キリスト教の歴史、南蛮文化への思い、アメリカ人の驚きといった当時の日本人が外国や宗教をどのように感じていたかがよく分かった。		地元が神戸なので、神戸が医学で特別展が開かれたら行くところと考えています
23	男	勤労者	興味深い展示が多かった	ドージャーのピアノ		神学部というお金にならない学部を維持しているところがすごい、やはりドージャーがあるんだと思う、それがこの博物館にも出ている。
30	女	勤労者	魔境が見られたこと	キリタン弾圧のたて札(銀500両など書かれたもの)		
23	女	学生	地図など見られて、船の行き来の国がわかってよかった	建物がすごい。高札		
23	女	学生	福岡ではあまり見れないものが見れた。ただ、歩くスペースは、もう少し広いほうが良いと思った。	死海文書などいろいろなレプリカがそろっているのが面白かった。		
34	男	勤労者	コンパクトでわかりやすかったです	世界地図に関心をもちました。	地図から見る世界的な展示	もっと、他の大学の博物館と、共同開催したら興味深いと思う。
20	男	学生	最近地域というものに注目しているのが鎖国というのもまたひとつの視点になるかなと思いました。			
54	男	勤労者	コンパクトな内容で、要点がわかった。	聖書のレプリカ		地図を使った歴史の展示、キリスト教大学などの拡大に関して
20	男	学生	展示がよかった			建物ですばらしい。ぜひ維持を続けてください

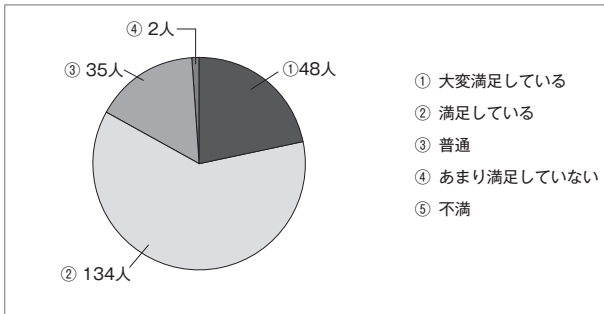
年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展	自由記入欄
52	男	勤労者	キリタン関係のものが興味深かった		紙鶴み絵	もう一度、元寇関連をやってほしい
24	男	学生	鎖国当時の絵巻が興味深かった			
1	女	その他	見やすい(判りやすい)	建物/絵馬/望遠鏡/絵巻/屏風/地団たんず/硯屏/フランク	新、旧聖書の比較	建物が残っていて感激した。
65	男	その他	狭い場所を有効に使ってわかりやすく展示、解説がなされている点	絵馬、火輪大軍船図説		
24	男	勤労者	西南の歴史とイエスの教え、及び鎖国の中で日本と海外のつながりを学べ大変満足です。			
48	女	勤労者	展示の仕方がよかった	江戸長崎海陸図		
41	女	勤労者	昔の文学などや絵			
46	女	その他	絵が精密ですごくと思った	キリスト教の歴史		
39	女	その他	きれいで見やすい展示でした			
19	女	本学学生	見やすかった	魔鏡		
18	女	学生	魔鏡がきれい	魔鏡		
21	女	本学学生		地図	文書	
18	女	本学学生	配置、順序			
50	女	その他	年表など詳しく調べられていた点	C.K.Dジャー氏ピアノ日記		
1	男	自営業	いつも清潔で良い/対応が悪い	魔鏡	旧約	
71	男	その他				神戸大学所有の資料に出会えたのは良かった
39	男	勤労者	神戸大学とのコラボ	出島の話	一時期、キリタンだった黒田如水	
44	男	勤労者	江戸、明治の外園に対するまなざしを感じる展示内容だった			
40	女	勤労者	歴史について久々に考える機会となった	乳香、ラピスラズリ	日項目に出来ないものを間近で見たい	
1	女	自営業	とても見やすくとても楽しかった			こんなステキな場所が開かされていて嬉しいです!
63	男	その他	建物が素晴らしい。ここで教育を受けた学生がうらやましい。鎖国によって出島から文化を学ぶために船隻を利用する。そのため日本の航海技術が著しく発展したとは意外だった。詳細に記録しようと努力した当時の文化人のレベルの高さに感服しました。	やはり劇作家ドージャー氏に関するもの、夫人も音楽に親しみ、ペレングラーとも交友があったと知り、感激した。立派な教育への「志」を強く感じた。大きな大学ではなく、いい教育を目指すというこほに感銘を受けた。		
60	女	その他		絵馬(大に描かれているえと大きさ)		一階左手奥のキリスト教に関する書物もですが、キリスト世界に在ったメノウや波菜、乳香など資料に心動かされました。
66	男	勤労者	魔鏡、黒田藩の踏絵		キリスト教に関するもの	キリスト教迫害の実態を知ることができた
40	女	自営業	わかりやすく展示されており、興味深かった			
70	男	勤労者	ゆっくり見る時間がない	ユダヤの歴史、ビデオ放映		
22	男	勤労者	資料を拝見することができて満足です。	全て。講堂を見ることができて嬉しいです。		
39	男	その他		紅毛人プラケット、模型		またゆっくり見に来ます。
63	男	勤労者	キリスト教と鎖国日本(江戸)の関わりが理解できた。	記録資料できれいな字にはびっくり		
45	男	勤労者	江戸時代の航海の方法が理解できた			
52	男	勤労者		ランキンチャベルがそのままの状態であったのがうれしかった		
70	男	勤労者	珍しい資料を集めている。2施設の共同事業というのは面白い。	五島の転パレレンの競走調書記録		
52	女	勤労者	全体的に日本の鎖国時代の様子を知る事ができた。			
45	女	勤労者		聖書のいろいろ		
45	女	勤労者		絵馬、魔鏡	日本におけるキリスト教布教の歴史	
42	女	その他	子供に見せられた事			
82	男	その他				現在古代の歴史を新めて調査中
60	男	その他	貴重な展示物が多い事に感じた	板絵/豊臣秀吉発布の5ヶ条(伴天通追放例) etc.		
44	男	その他	展示が充実していた	魔鏡 キリタン制札		
40	女	その他	良かった点:貴重な文物を拝見できたので意味合いについて少し教えていただきたい			参考文献、資料などを提示してほしい
54	男	勤労者	実物が展示してあること	当時の軍艦の資料		
20	女	本学学生	展示がたくさんあった。	紅毛人プラケット	天草四郎展	
19	女	本学学生	展示物が沢山あって	望遠鏡	天草四郎展	
19	女	本学学生	展示物がたくさんみれた点。	絵馬	天草四郎展	
19	女	本学学生	1つ1つの展示品に細かい説明があり、理解しやすかったです	望遠鏡		
58	男	勤労者	初めて見る分野の歴史的資料であった			今回は時間が無くゆっくりと見ることが出来なかったのて次は目的をもって来たい
21	男	学生		船の中で使うタンスの戸の裏に美人画が貼ってあったり、オランダ人の姿を描いたモノが流行していたりといったことに現代との親近感を抱いた。		
19	女	学生	神戸の博物館に展示されているものがこんなに近くで見られたこと		日本全国の隠れキリシタンの遺物を展示していただきたいです。	
19	女	学生	普段見れないものがたくさんあった。狭い。	アメリカ人のスケッチ	またアイコン展をしてほしい。	
19	女	本学学生	魔鏡がすばらしい。		マヤ文明展	
19	女	本学学生	九州とキリスト教の関わりがわかる点	魔鏡、御迎御座船屏風		
21	女	学生	時代の流れに沿って展示されており、わかりやすかった。	御迎御座船屏風		
64	女	その他	狭い中での展示で仕方がないと思うが、「高札」への照明が適切ではないと思った。光が眼に入りよく見えなかった。			テーマと展示資料が、もう少しはつきりする方がよいと思う。
60	男	勤労者	展示がわかりやすかった		古い写真をもっと比較展示されては?	
64	男	自営業	鎖国時代の様子が判りました		絵巻にかんする物	
55	女	その他	宗教と無関係で生きてきたので、ピンとこないが、「キリスト教が現在のように自由に信仰できるようになってよかったね」と思えたから。	魔鏡、かくれて何かしようと思うと、いつの時代も大変ね。		大学が共同でこのような特別展ができるというのは新しいやり方だと思う。
60	男	勤労者	神戸大学海事博で、ふだんみられないものを見ることができた。(き悪い点)書きかかれていたので入力が狭い(ひきかたれない)、点数がもう少しあれば			
88	男	その他	絵馬、望遠鏡、鉄砲にしてもすぐ日本人が作った。	存命帳、宗門改		
20	男	本学学生	部屋に入ってから順番に見やすく展示されていた。			魔鏡はびっくりしました。とてもよかったです。
70	女	その他	資料が丁寧に展示され、内容も貴重な内容でした。	たくさんありますが、この度は景教僧文書磁壺でしょう。		なかなか来館できないので、失礼をお許しください。これからも楽しみにしています。
57	女	その他	貴重な資料を見る事ができた。			
57	男	勤労者	実物を見る事ができた事			
38	女	その他	なかなか見ることのない鎖国時代の絵や地図が見れました。		昆虫や化石の展示	また来館したいと思いました。
65	女	その他	解説が丁寧です。展示物がキリスト教文化の伝来と□□(鉛書)史、海上交通史のテーマまでまとめられていた	絵馬に南窓□の図があったこと、望遠鏡などの技術□□		
80	男	その他	航海安全の絵馬は珍しかった。など			
8	女	本学学生	悪かった点:(ありません)			
63	男	勤労者	絵馬	ザビエル(今、司馬の街道を行く南窓を読んでいる)	歴史	
75	男	その他	展示してある資料が学術的に見て極めて価値が高く発見と驚きの連続で以後の学習を意欲的積極的にしてくれる点にその理由があります。	御座船が朝鮮通信使に利用されている色彩鮮やかな絵巻。ビックリするやら感心するやら私の一押し作品です。	「キリスト教と日本文化」「対外交流史」「ユダヤ教とキリスト教」「文化遺産」「不平等条約改正の軌跡」	
21	女	本学学生	海外の交流について、特に芸術品などが展示されていて興味がありました。	紅毛人プラケット、瓊浦津渡船図、紅毛人硯屏、南窓船乗船絵巻、南窓人行列率納絵巻、並米利加船人物之図、萬國人物図説		
78	男	その他	安政五国条約等の古文書		aと同様	食堂に時々来るので、催事について掲示板に貼り出してもらとうとありがたい。
60	女	その他		船たんず、海図		孫と魔鏡を見に来ました。
12	女	学生	魔鏡が一番面白く、良いと思った	魔鏡、望遠鏡、プラケット		見たことがないようなものがたくさんあって面白かった。
21	女	本学学生	鎖国時代に日本がどのようにキリスト教と関わっていたかを当時の品によって考えることができた。外国から伝わった品なども見れたところ。	並米利加船人物之図→日本人から見えたアメリカ人のイメージがわかると思った。鑑み絵をしてキリスト教でないことを確認するための記録。		博物館実習ではお世話になりました。至らない点も多々あるかと思いますがよろしくお願ひいたします。
47	男	勤労者				悪い、部屋内が。
47	女	勤労者	歴史で学んできたことがより詳しくつながりをもって理解できた。	望遠鏡、意外に装飾的な船や道具。	ギリシア正教やカトリックとの相違やつながりが分かるもの。	
59	男	その他	年代的表記と、南窓人、紅毛人をきちんと分けて解説してあった。	世界的な分野での表現が不足、鎖国と対外(ヨーロッパ)の新教、旧教の対立(30年百年戦争)		大学、女性が多くなっているのにびっくりしています。
62	男	その他	ヘブライ語、ギリシャ語を復書と並びに死海文書を視ることが出来た事。	ビデオにて神のイエスの伝記を見た事。	プロテスタント教、カトリック教徒の相違等文書等を見てみたい。	有形文化財の建物を初めて拝見させていただきましたありがとうございます。
15	男	学生	貴重なものが見れた			

2012年度秋季特別展「キリシタン考古学の世界—今日に甦る祈りと叫び—」アンケート集計

1. 本日の特別展をどのように知りましたか？（複数回答可）



2. 特別展の内容についてお答えください。



3. アンケート

年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展	自由記入欄
70	女	職業	古き時代をしのび先じんの智恵に脱帽			歴史散歩の折立寄りました
61	男	その他	見たこともないもの。レンジの方向性がこの博物館らしい。			黒田藩からの学校の変ぼうの展示
60	女	その他	知らなかった西南学院の成り立ちとかを知ることが出来た		天草四郎の特集など。ガラシャとの関係など	
52	女	勤労者	キリシタンの歴史がよくわかっていなかったことが少しわかった。	随筆の展示		
42	男	勤労者		隠し十字架はよい。潮のクスもよかった。	快い驚きを与える展示を今後もおねがいします。	
58	男	勤労者	展示がすっきりしている。キャプションにコルピがないので子供には理解し難い。	特別展メダイ		
77	女	自営業	大正時代に建てられた建物が残っている事。キリスト教の歴史を少し知ることが出来ました。	魔鏡が大変珍しかった。踏み絵、信仰心の強さに感銘されました。		
39	男	その他		筑紫なぎなたなどキリシタン遺物	島原天草一揆、秋月、甘木のキリシタン特集を。	筑前・長崎街道とキリシタンの歴史、島原・天草一揆の関連を研究しています。
75	女	その他		キリスト教徒西南大学のルーツを学ばせていただきました。		
51	男	その他	天草に行かないとみられないメダイがみることができた。テーマの設定が時期尚早かも			
63	男	本学教職員	府内病院の模型が見られたこと。調べに行ったことがあり、もっと知りたいと思いました。	福岡で発見されたメダイとコンタツ。フロイスの本では福岡はキリシタンの拠点のひとつでもあったようですが、これらの史料をはじめて見ました。		キリシタン復活後のキリスト教の影響について展示を希望します。また資料の収集活動について知りたい。
44	男	勤労者	普段見られない物を見られたので	メダイや随筆		照明が少し暗いのは？
58	男	勤労者	日常の視点と異なった見方が出来ました	隠し十字架、マリア観音像	「進化論をどう考えるか」etc.	
69	男	その他	キリスト教の歴史全般、ザヴィエル、日本のキリスト教史全般が非常にわかりやすい。特に先史文書をはじめとする聖書は全体的に素晴らしい。おまじり乳香と筑紫のサンプルを見せていただいたら感謝しました。			
53	男	本学教職員	考古学の観点からキリスト教がみえたこと	島原の私絵地図	九州の洋学	
21	女	本学学生	学委員の力が感じられた点。特に潮隠しクルスの展示。	肥前国歴史地図		
47	女	その他	色々な聖書が展示してあり、その中でもケルト写本が見られた事。ユダヤ教のものが見られた事。	イスラエルに見る聖書の世界がとても良かった。映像でよくわかる感覚がある。荒野とヨルダン川での洗礼とか、魔鏡は知っていたが隠し十字架は初めて知った。	旧約について。	横浜のキリスト教学校も何校か訪問した事があるが聖書内の植物をこんなにたくさん見たのは初めてです。
23	女	勤労者		キリシタンの聖遺物		博物館そのものが、とても素晴らしい建造物です。
46	男	勤労者	今までにない展示だったので	島原市・原城からの出土品	キリシタン墓標の展示	
27	女	勤労者	展示が見やすかったです。			
38	女	自営業		隠し十字架		
36	男	勤労者		キリシタン関係の資料をたくさん集めており、大変興味を持った		
50	男	その他		各種瓦		
50	男	勤労者	出土品などを美見できたから			
60	男	勤労者		キリシタン資料をはじめ見ました。		
48	男	勤労者	体系的に資料が展示できている	メダイ、指輪	出土品	
38	女	勤労者	キリスト教の教えが、人々の生活に浸透する様と、教えをかたく守る姿に感動しました。			
22	男	学生	主旨に合わせた展示や、他館から借りたといった工夫。	十字架やメダイを、もう少し身近で（細かいところまで）見られたです。		モニターの音が、少し大きかったと思いました。
34	男	勤労者	キリシタンの歴史がわかる。各地の史料がそろっている。	マリア観音像		
22	男	本学学生	雰囲気はレトロでよかった	潮かくれクス		建物がきれいだった
23	男	本学学生	とてもきれいに展示されていたし、歴史を感じた。	潮隠しクス		全体的にきれいでよかったです。
67	男	その他	肥前地図（慶長）	マリア観音（磁器製）		
55	男	自営業	ビデオがわかりやすい			
43	女	勤労者	メダイやロザリオ、瓦に十字架の細工などさまざまな昔の人々の信仰の証しを見ることができ、自分自身の信仰も新たにしようと思うことが出来ました。	メダイ、小さく繊細なつくりなのに、昔のものとは思えないような出来映え。	アイコンもとても良かったです。迫害を受けていた頃のキリシタンの生き方やそれにまつわるもの、二十六聖人（は無理？）など。	私はカトリック信者です。私が幼児洗礼でカトリック信者になった事は、神様の恵みだと感じています。先出のキリシタンの思いを受け継ぐものとして信仰を強めたいです。
25	女	勤労者	展示がわかりやすい。博物館のたのめがいい。	マリア像		とてもよかったです。
75	男	その他	普段お目にかからぬメダイ等非常に興味があった	藤島（福江島、上五島、長崎県の藤島など）がなみ淋しかった		
43	女	その他	歴史がよくわかりました			
66	男	その他			天草四郎についてわかりやすくしてほしい。	
52	女	その他	メダイやマリア観音像を通して、厳しい時代の中での命のかけの信仰があったと感ずられる。	随筆に関するもの		建物も素晴らしいので、静かで見れます。
18	女	その他	信仰が権力に屈しない人間の強さを知りました。	随筆がメダイになったもの		
73	男	その他	時代の変化が少々理解できる面	西南大の100年の歩み		
84	男	その他	禁制例、随筆（レプリカ）	洋書の簡単な解説文があればよいと思います。		いままじりキリスト教信者たちの弾圧の中での人間的悲愴がほしい
74	男	その他	歴史的に重要なものが展示されていた			
49	男	勤労者		大友通勝とキリシタン関係		
—	男	その他	ソノ物に触れた人々の手が観た!	物が小さいのと、隠いので鑑賞が出来なかったのが残念（巻物もあって）要工式一松大塚の図示		展示品は毎回素晴らしいのですが御講演は残念から毎回期待外れ
60	女	その他	ロザリオの珠。今まで単にロザリオは、十字架を示すものとして考えていましたが、初めてロザリオが示すものを知りました。	秋月からの出土品。瓦に十字が残っていたこと。		
66	女	その他	潜伏の様子がリアルに感じられた	メダイと十字架の違い		
—	女	その他		キリシタン魔鏡		博物館の建物がステキでした。
68	女	その他	キリシタンのことが少しわかったから			
40	男	勤労者	貴重な資料があったこと	隠し十字架		一般に開放して頂きありがとうございます
57	男	勤労者	テーマがしっかりしているところ			どのように自由に入ることができる施設であってほしい
72	男	その他				2Fでバイブルガンの練習をされるのを拝聴 ほんま機会をまた楽しみに
31	女	勤労者		瓦一模様がいっぱいでした		
49	男	勤労者				仕事のあい間に来ました。次回はゆっくりと見学したいと思えます。
64	男	勤労者	なかなか自分としては見られない品が見られた			
49	男	その他	ドージャー氏の生涯と西南学院の歴史について知ることができてよかったです。			
64	男	自営業		全てに興味を持った。	常識のもので十分おもしろい。	次回は時間を作り、1時間ビデオを最初から見たい。
22	女	本学学生	メダイに興味があるので、小ささまざまなメダイ、そして鑄型まで見られて満足です	メダイの鑄型。九博で会って以来、久ぶりに再会しました。		ぜひ自分のキリシタンをもう一度、地方文書の中にまたまたおもしろいネタが隠れている気がします。
62	女	その他	墓標の拓本、全体としての展示の質の高さ	十字架、隠し十字架、マリア観音		
65	男	勤労者	精選された歴史的遺物が迫真感を以て迫ってくる。	地函	墓府のキリシタンに対する態度を表す資料 イエスのマレジオ、セシナリオに関する資料	実に貴重な博物館です。今後もよろしくお願ひします。
23	男	勤労者	キリストが好きになった	イスラエルの歴史		とても良かったです!
63	男	その他	展示品の内容	もう少し詳しい資料		
68	女	その他	展示が余裕ある空間と照明で落ち着いて拝観できる	聖典・遺物	日本での宣教師の布教についての人生などについて	改めてゆっくりと拝観したい
44	男	勤労者	昔のキリスト教の足跡が理解できた	聖書（各箇の）		
61	女	その他	学園がドージャー夫婦によってキリストとのかかわり方をかき見ることができました	ロザリオの玉一つ一つがコンタと呼ばれるを初めて知りました		
45	男	勤労者	この夏原城に行きました。またここで当時の遺物を見ることができて感銘深い	指環 それを身につけていた人の姿が想像されます。		卒業生ではないのですが、時折立ち寄らせていただいています。2階で座っていると落ちます。
68	女	その他	初めて目にするものばかりでした。	随筆、など		

年齢	性別	職業	意見・感想	興味をもった展示資料	今後希望する特別展	自由記入欄	
62	女	その他	キリスト教の歴史は聞いていても目撃することができない昔の人々の信仰をひっそりと守ってきた人々が残していったことが大事だと思います。	魔境ははじめて見ました。			
73	男	その他	間いたり読んだりしていたものの実物を見た			ずっとシリーズを楽しみにされている人には書籍があるように始めて来た方にはやはり全体の説明(DVDなど)が必要だと思います。	
59	男	その他	十字架やメダイの実物が見たこと				
60	男	勤労者	普通見れないものが見れた	メダイ、島原天草関係			
66	男	その他	①展示資料の量 ②「折り」とさげし庶民の信仰と弾圧について、天草の乱以外の部分も欲しい		○キリスト教大名の信仰とその後 ○天正少年使節とヨーロッパ ○幕末から明治初期における弾圧 等		
一	男	本学学生	遠くから来た歴史を、キリスト教の視点からより知れたこと	キリスト教魔鏡			
一	女	その他	日頃なかなか目にする事がないので以前よりキリスト教について詳しく知ることが出来たこと				
59	男	自営業	聖書の写本のレプリカやデナル等の聖書が見られたこと				
83	男	その他	発掘の結果と歴史を照合して認識が具体的になりました。				
22	男	本学学生	日本の隠れキリストの創生工夫を見ることができた点。	一揆当時の地図			
21	男	本学学生	面白い展示物があったから	魔鏡			
52	女	その他	キリスト教の歴史について集約してあった点。建物もすばらしい				
58	男	勤労者	初めて知ることがたくさんありました				
44	女	勤労者	キリスト教の伝った当時のこと 禁教の時代のこと このチャペルの歴史を感じるにおいの中静かに建築されたこと	さかさ十字架			
51	男	本学教職員	メダイやロザリオ 博物館の建物自体がすばらしい	「TVの音声が気になって展示物を集中して見れなかった →聞きにくい時や再生音響小さくヘッドホンで「音楽の展示(上部)が蛍光灯の反射で読めなかった」		ありがとうございました。	
70	男	その他	肥前の慶長国絵図が見られた事	十字架架の拓本			
64	女	その他	江戸時代、キリスト教がどの様に生き残り伝えられたかわかりました。	マリア観音像		場所がわかりにくかったです。学内にポストの案内ももっとあれば良かったです。	
71	男	その他	子供がこの高校を卒業して、その後単身赴任で学校に接する機会がなく、当惑も初めてで感傷もあつた。	いろいろ			
49	男	その他	昔段見ることができない物を見ることのできた	府内病院復元模型		展示のための準備ごとうさまです	
42	女	その他		特別展示物		展示物ひとつひとつがとても丁寧に展示されていて良かったです。毎日、この前を通るの、たまぎり寄らせていただければと思います。今日はオルガンの音にひかれて思わず入ってしまいました。	
68	男	その他	マリア観音像、各種クロス	原城資料			
42	男	勤労者	キリスト教の大きな歴史がわかった。キリスト教の思いを垣間みれたこと。	魔鏡 キリスト教を続ける思い。			
62	男	その他	九州地方でのキリスト教信仰の土着化	CKD-ジャー-師の生涯			
63	男	勤労者	九州のキリスト教-日本キリスト教史の光と影-この展示物はじめてみました。板製の踏絵等興味深い。	キリスト教制札、紙踏絵、島原の乱の遺物など	キリスト教の歴史		
58	男	勤労者	初めて見る物ばかりであった			日中、日鮮の関係史、古代～近現代	
60	男	その他	知らなかった信仰の対象など			暗く見えにくかった。小さいものは拡大した写真があれば	
55	男	勤労者	(今回は)専門知識がなくでも学校(中高)で習った内容に近く、わかりやすかった。いつも通り、強い照明が当てられていないので、→内容が見えない 出来れば別紙で内容がわかるような写真、図が欲しい(拡大図)	1. 慶長絵巻と23. 原上中図は別紙に内容の解説を出して頂きたい	今回の展示と関連もある、隠れキリストの歴史と信仰について	講演も非常に解り易くおもしろく聞けました。	
69	男	その他		慶長絵巻(石高入り-有馬、有家の石高がこの頃からどりわけ高くなっていく点があった)			
79	男	その他	なかなか見ることが出来ないものが展示されていた。	キリスト教五		キリスト教の歴史に関するもの	
63	男	その他	先月ポルトガル旅行をし教会等を多数見学。天正遣欧使節等の話をガイドから詳しく聞きその関連として	特別展		歴史もの、ザビエルの足跡等	光の関連で文字が良く見えづらい展示有り
48	女	その他	日頃見る機会が無いキリスト教考古学の資料が見れた事	潮隠しクロス		キリスト教にまつわるものなど	今後も色々な催し物を拝見したいと思います。
58	女	勤労者	ユダヤ教で使用される品々 説明が丁寧	キリスト教魔鏡		キリスト教の歴史	博多の歴史
46	男	勤労者	両替町跡跡の出土品を、ナマで見ることが出来た。	時間があれば、ビデオをゆっくりに見たい		府内病院復元模型	大妻お世話になりました。
45	男	勤労者	貴重な遺産を目のあたりにできるのはやはりすばらしい。	原城の戦いに関するもの		キリスト教の生活に関するもの	どんどん焼けてください
40	男	勤労者	当然であるものでも、切がキリスト教とつながりがあるものなので、非常に興味深く見させてくれました。	各種のメダイと潮隠しクロス		これまでの路線をお願いします	やや場所がわかりにくく感じると、本道に申して入っていないのかわかりにくく感じがするのやがや残念
27	女	その他	展示方法は良い				建物もきれいな
78	女	その他	かくれキリスト教を勉強し、各地に行きました。まだ見えないものがありました。よくわかりました	メダイ、コンタ、ユダヤ、タクトのツィツィヤ。			
52	男	勤労者	原城出土の歴史遺物が貴重				
51	男	勤労者	福岡(九州)が歴史的に海外文化の強い影響を及ぼしている事がわかりました。	原城関連の国			
62	女	その他	キリスト教のこと、日本での発展の様々、通商時代のことなどがわかりやすく、興味を持ちました。	聖書、いろいろの写本等すごいと思いました。	子供がお城が好きです。お城の展示をしてください	もっと、ゆっくりに見たい思いました。(子供連れでしたので)	
36	男	勤労者	歴史年表があるのでキリスト教の流れがよくわかりました。	マリア観音		キリスト教の遺書から流れた先々での生活が分かる内容。	
57	男	勤労者	キリスト教の歴史	魔境、北部九州のキリスト教大名のこと			高校の卒業生なので懐かしかった。
52	男	本学学生	福岡という地方が世界とつながっていたのを実感できた。	原城の合戦の絵			
44	男	その他	歴史の教科書に出ていたマリア像の目の当たりにできたこと	マリア観音像		大学博物館は情報発信が非常に重要であると共に皆が興味を引く展示	
39	男	勤労者	珍しい出土品がよかったです。	鉄砲など		福岡通とキリスト教について	
55	男	自営業					
65	女	その他	大分の上野丘病院の復元を見て良かったですと思います。	マリア観音、平戸でも拝見しています。		絵巻など	
60	男	勤労者	多様なキリスト教遺物が各地で伝えられていること				
22	男	学生	メダイなどの実物が見れたこと	メダイリオン		当時の品を見ることのできるもの	
25	男	学生	(キリスト教考古学)という題を最初聞いたときは、正直に申して、まったくイメージが湧きませんでしたが、展示内容を見て納得しました。キリスト教が本格的に伝来する中世-禁教期におけるキリスト教時代の光と影、とくに「影」の部分に印象深くはまりました。展示でした。	潮隠れクロス、魔鏡のようにギミックのある展示は個人的に好きです。実際に千船時代十字架が写か姿をみてみたい		本博物館がフューリス設計と聞きました。彼をテーマにして特別展があればおもしろいのではないかと思います。	今年の3月に東北学院大学博物館にお越しいただき、まことにありがとうございました。悪くは笑ってしまいました。
19	女	本学学生	わかりやすかったです	マリア像 顔がアジア人だった			特におもしろい
19	女	本学学生	わかりやすい説明	メダイ			色々目新しくおもしろかったです。
59	男	その他	大学の博物館がはじめてで、キリスト教のメダイに興味があり、大変感動した				
70	女	その他	一揆の様子が見られた	潮隠しクロス		九州にのこる隠れキリストの足跡	
75	男	その他		一揆の鉄砲		九州にのこるかくれキリストの遺跡	
48	男	勤労者	大きな博物館にはないものが沢山見れた。キリスト教の歴史がわかりやすかった。	ド-ジャー氏のピアノキリストの所有物			
55	女	その他					
67	男	その他	キリスト教の遺物を通して苦難の中信仰を守りぬいた姿を見ることが出来た	魔鏡、紙の踏絵、潮隠しの十字架		全国のキリスト教遺跡の写真など	関連講演会があれば教えてください
67	女	その他	キリスト教の文化に少しふれられたことができた。				
35	男	勤労者	拓本がよかったです。	肥前国慶長国絵図			
53	女	その他	わかりやすい、めずらしい、キリスト教にきょうみをもてる。				
49	男	その他	貴重でなかなか見られないものが見られた				
65	男	その他	島原の乱前後の歴史を知ることができた				
70	男	その他	今まで見たことがない、初めてでした				
64	男	その他	きめ細かい展示				ありがとうございました
66	女	その他	分かりやすい	教会のなか		元寇に関すること	
39	女	その他	大変興味のある展示ですが、東京ではなかなかチャンスがありません	メダイ銅型、日本で作られていることを知りませんでした			
39	女	その他	大学でこのような展覧会をすることになります。私は長崎のクリスタルを卒業後が大分県に来て改めて勉強させてもらいました。	福岡でメダイが作成されていたことにおどろいた		キリスト教がもっと自分だった頃をもっといざいざしたものがほしい	
70	男	自営業	特別展示品の資料が少なかつた	肥前の国古地図		キリスト教大名の特別展	
19	男	本学学生	歴史の深みを感じさせる多くの展示物	絵巻踏絵、板踏絵			
66	男	その他	展示品が少ない様に思われた	興味があったが複製品なのは残念です			
35	男	その他	非常に貴重な資料を見せて頂き良かったです	隠し仏像、当時の大妻がよわかりました			
88	男	その他		原城跡踏絵		日本近代のキリスト教史	
61	男	勤労者	ふたふた、見ることに少ない物が見れた	全部		地域的に特色のあるもの	
64	女	その他	天草画いろいろの所々の出土品	メダイ、メダイオン、コンタをはじめ見ました			
18	女	本学学生	見たことないものばかりで面白かったです				
34	女	その他	クリスチャンにとってありがたい、長崎には興味ある。地元でこういった展示がみられ貴重。センター方式がなかなかあって、もう少し照明が明るくなるようになって欲しい。あと、特別展の開催日ばかりはもったいないと思う				いろんな教会にチラシをおいたら、どうですか?存在しなかった。すくなく複製品建物で、博物館はありがたい。時々教会に通うものですが、2階講堂は礼拝行っていますか?
76	女	その他	久留米、秋瀬にもキリスト教の存在が少なかつたことと久留米市下町教会の存在がわかりました。	踏絵、マリア観音像、av画像(キリスト教史跡巡り観光の総覧みたい)			「日本巡礼記」がフューリス者(イエスス会(不道徳))より当初の日本のキリスト教世界に強い関心がありましたので、おられました。
79	女	その他	頭では知っていたキリスト教の由来が少しわかったと気がします。静寂にいられた至福のひと時でした。				
66	男	その他	考古学発掘調査の成果の一部が展示されていた。				
65	男	その他	天草画、筑紫藩刀が見えました。				
39	男	その他	「INRI」や「HS」など専門的なことが多かった。	キリスト教魔鏡、隠し十字架			
61	女	勤労者	実物の魔鏡を1度見てみたいと思っていたので、かきました。	大分のキリスト教の歴史は余り知らなかったの、参考にしました。	20年以上前、TVで魔鏡を知りましたが、日に日に詳しくなっていくのが面白かったです。他の物も見られれば嬉しいです。	普段何の不自由もなく聖書を読んでいて自分にとり、興味あるものばかり読んでいくのが好きです。展示物も見る機会を得たい心を感じさせて頂き感謝です。	
64	男	勤労者	メダイがたくさん展示されていた。又、コンタ指輪も珍しかったです。				最近、入り口正面に、展示室模型が作成され、展示されているが、相当な手間と時間が使われているように思える。できればそのスペースと手間、資金を展示物に当ててほしい。ただでさえ、企画費も少ない貴重な空間として貴重スペースだと感じる。

2012年来館団体一覽

期日	見学時間	団体名	人数
4月1日(日)	10:00~17:00	MI・らん・NEコンサート	46名
4月3日(火)	12:30~13:00	西南学院中学・高等学校教職員オリエンテーション	45名
4月4日(水)	10:00~12:00	神学部始業礼拝・開講講演会	85名
	16:30~17:00	百道浜シンフォニー教会	20名
4月9日(月)	9:45~10:45	学院史キャンパスツアー	250名
	11:00~12:00	神学部チャペル	52名
4月11日(水)	9:00~10:30	西南学院中学校新入生オリエンテーション	230名
4月18日(水)	11:00~12:00	入試課撮影	6名
4月19日(木)	14:00~14:30	国際文化学部「専門演習」講義	23名
4月23日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	46名
4月27日(金)	10:00~11:30	広告撮影	5名
4月28日(土)	13:00~14:30	博多学	35名
4月30日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	51名
5月2日(水)	10:00~10:30	沖学園高等学校	22名
5月7日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	46名
5月11日(金)	11:00~12:00	西南学院小学校	70名
5月13日(日)	12:30~14:30	かたらんね	25名
5月14日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	51名
5月17日(木)	14:00~14:30	国際文化学部「専門演習」講義	16名
5月18日(金)	15:00~16:00	久留米大学	25名
5月19日(土)	13:40~14:10	朝拝会全国連合	65名
	13:30~17:30	福岡・デンマーク友好協会	140名
5月21日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	45名
5月23日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア練習	16名
5月24日(木)	12:30~13:00	経済学部河村朗教授ゼミ	15名
5月25日(金)	13:00~13:30	ベシヤワール会	3名
	14:00~15:00	広報・連携課	6名
5月26日(土)	12:00~16:00	読売新聞読書教養講座	110名
5月28日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	43名
6月2日(土)	13:30~16:30	西南学院大学碧波寮OB会	50名
6月4日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	47名
6月6日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア練習	18名
6月7日(木)	8:45~17:30	第5回国際東アジア考古学会(SEAA)世界大会	105名
6月8日(金)	8:45~12:30	第5回国際東アジア考古学会(SEAA)世界大会	35名
6月9日(土)	8:45~17:30	第5回国際東アジア考古学会(SEAA)世界大会	45名
6月10日(日)	8:45~12:30	第5回国際東アジア考古学会(SEAA)世界大会	30名
6月11日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	45名
6月12日(月)	15:00~15:30	佐賀学園高等学校	182名
6月13日(水)	9:00~10:30	「キリスト教学」講義	44名
	11:40~12:00	熊本県立熊本商業高等学校見学	25名
	13:45~14:00	卒業アルバム撮影	17名
	16:40~18:00	チャペルクワイア練習	17名
6月14日(木)	11:10~11:40	「キリスト教学」講義	51名
	15:00~16:00	国際文化学部松原知生教授ゼミ	19名
6月15日(金)	9:00~10:30	「キリスト教学」講義	50名
	9:30~10:30	「キリスト教学」講義	40名
6月17日(日)	10:00~11:00	歴史教育研究会フィールドワーク	16名
6月18日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	44名
6月19日(火)	11:10~12:40	「人文地理学」講義	20名
	13:30~14:00	佐賀県立佐賀北高等学校	15名

期日	見学時間	団体名	人数
6月20日(水)	9:00~10:30	「キリスト教学」講義	70名
	11:10~12:40	「アメリカ思想」講義	180名
	11:10~12:40	経済学部村岡伸秋教授ゼミ	20名
	16:40~18:00	チャペルクワイア練習	17名
6月20日(水)	17:30~18:00	ギャラリートーク	17名
	6月21日(木)	11:10~12:00	「キリスト教学」講義
6月22日(金)	10:20~11:20	博多高等学校	40名
	13:00~13:30	福岡県立糸島高等学校	30名
6月26日(火)	15:45~16:15	夏期日本語研修生	40名
6月27日(水)	11:00~12:00	鎮西高等学校PTA	30名
	14:30~15:30	福岡アーカイブ研究会	15名
6月27日(水)	16:40~18:00	チャペルクワイア練習	15名
	6月29日(金)	18:00~21:00	福岡パッハコレギウム
6月30日(土)	15:00~17:00	西南学院高等学校2年J組	17名
	18:00~21:00	福岡パッハコレギウム	43名
7月1日(日)	13:00~18:30	福岡パッハコレギウム	341名
7月2日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	52名
7月3日(火)	14:30~15:00	九州歴史資料館	5名
7月6日(金)	12:40~13:00	福岡市立福岡女子高等学校	34名
7月9日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	60名
	14:15~14:30	福岡県立須恵高等学校	40名
7月10日(火)	11:45~12:15	大分県立別府鶴見丘高等学校PTA	60名
7月11日(水)	11:00~11:30	福岡県立須恵高等学校	80名
	15:00~15:30	福岡常葉高校	40名
7月13日(金)	13:30~14:00	福岡県立講倫館高等学校	160名
7月14日(土)	14:00~16:00	特別展開連公開講演会	45名
7月18日(水)	13:30~15:00	神学部「教会音楽A」講義	3名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	3名
7月23日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	44名
7月25日(水)	14:10~14:40	C.C.C.(韓国)	47名
7月26日(水)	13:30~15:00	神学部「教会音楽A」講義	3名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽B」講義	3名
8月3日(金)	11:45~12:15	C.C.C.(韓国)	9名
8月9日(木)	11:40~12:10	KoreaBaptistTheologicalUniversity,Seminary	23名
8月26日(日)	11:00~18:00	アンサンブル ソナール・カンタンド	65名
8月27日(月)	10:30~11:00	東京ホライズンチャペル	9名
8月28日(火)	10:50~11:30	C.C.C.(韓国)	4名
8月29日(水)	9:30~10:00	「日本伝統文化C」講義	18名
8月30日(木)	12:30~13:00	神奈川工科大学	5名
	14:30~15:00	福岡県立福岡魁誠高校	43名
9月4日(火)	15:15~16:00	大学間合同職員研修	20名
9月7日(金)	13:00~14:30	明光学園高等学校	70名
9月10日(水)	13:30~15:00	神学部「教会音楽C」講義	3名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽D」講義	3名
9月15日(土)	9:45~13:00	結婚式	58名
9月19日(水)	13:30~15:00	神学部「教会音楽C」講義	3名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽D」講義	3名
9月20日(木)	13:00~13:30	福岡県立玄界高等学校	85名
9月22日(金)	10:00~17:00	結婚式	73名
9月24日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	40名
9月26日(水)	13:30~15:00	神学部「教会音楽C」講義	3名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽D」講義	3名
	11:00~11:30	佐賀県立神埼高等学校	50名

期日	見学時間	団体名	人数
9月29日(土)	10:00~12:00	せいなんこどもワークショップ	58名
	16:00~18:00	宙の木コンサートリハーサル	15名
10月1日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	45名
10月2日(火)	10:50~11:00	福岡県立若松高等学校	46名
	15:45~16:00	福岡県立明善高等学校PTA	22名
10月3日(水)	11:50~12:10	福岡県立伝習館高等学校PTA	51名
	13:30~15:00	神学部「教会音楽C」講義	3名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽D」講義	3名
10月5日(金)	11:30~11:40	大分県立大分舞鶴高校	80名
	16:15~16:25	福岡県立小郡高校RTA	42名
10月6日(土)	15:00~17:00	宙の木コンサート	48名
10月8日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	30名
	16:30~17:15	「旧約概論B」講義	10名
10月11日(土)	10:30~11:00	福岡県立京都高等学校PTA	20名
	12:00~12:30	福岡県立太宰府高等学校	100名
	14:20~15:00	大分県立中津北高等学校	20名
10月12日(金)	10:40~11:10	福岡県立大牟田北高等学校PTA	50名
10月15日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	44名
10月17日(水)	13:30~15:00	神学部「教会音楽C」講義	3名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽D」講義	3名
	16:40~18:00	チャペルクワイア練習	18名
10月19日(金)	15:00~15:30	ふるさと歴史散歩講座	5名
	17:10~17:45	日本考古学協会	20名
10月20日(土)	17:00~18:00	日本考古学協会	163名
10月22日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	48名
10月23日(火)	11:30~11:50	佐賀県立佐賀北高等学校PTA	22名
	13:00~14:00	佐賀県立香楠中学校	30名
10月24日(水)	13:30~15:00	神学部「教会音楽C」講義	2名
	15:10~16:40	神学部「教会音楽D」講義	2名
	16:40~18:00	チャペルクワイア練習	20名
10月25日(木)	10:30~11:00	福岡県立武蔵台高等学校	156名
10月29日(月)	11:00~11:15	佐賀県立武雄高等学校PTA	32名
	11:00~12:00	神学部チャペル	38名
10月31日(水)	9:30~10:30	「日本の伝統文化C」講義	16名
	10:50~11:30	福岡県立八幡南高等学校	280名
	12:30~13:30	千葉県立国府台高等学校	7名
	14:00~14:30	福岡県立早良高等学校	50名
	16:40~18:00	チャペルクワイア練習	20名
11月1日(木)	13:15~14:15	国際シンポジウムAZEC	50名
	15:10~16:40	国際文化学部「専門演習」講義	15名
11月2日(金)	14:00~15:00	福岡県立新宮高等学校	84名
11月5日(月)	10:40~12:10	神学部ロングチャペル	55名
11月6日(火)	10:55~11:10	福岡県立香椎高等学校	120名
	17:20~18:00	青山学院大学	6名
11月10日(土)	13:00~17:00	古澤嘉生先生を囲む会	20名
11月12日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	36名
11月13日(火)	12:50~13:00	みやこ町立勝山中学校PTA	17名
	15:00~15:30	福岡県立八女高等学校	40名
11月14日(水)	13:30~16:40	神学部「教会音楽研究」講義	6名

期日	見学時間	団体名	人数
11月17日(土)	10:00~12:00	せいなんこどもワークショップ	18名
	14:00~16:00	特別展開連公開講演会	83名
11月19日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	36名
	16:00~16:20	博物館協議会	5名
11月22日(木)	17:00~18:00	「博物館資料論」講義	12名
11月26日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	34名
11月29日(木)	9:00~10:30	国際文化学部今井尚生教授ゼミ	48名
11月30日(金)	9:00~10:30	「キリスト教学」講義	43名
	15:00~15:30	福岡県立福岡工業高等学校建築科	9名
12月1日(土)	10:00~12:00	せいなんこどもワークショップ	21名
12月3日(月)	11:00~11:20	西南学院高等学校教員	40名
	11:00~12:00	神学部チャペル	35名
12月4日(火)	15:00~15:20	長崎県立宇久高等学校	14名
	10:50~11:00	福岡県立田川高等学校	40名
12月6日(水)	15:00~15:30	C.C.C.(韓国)	11名
12月7日(金)	9:00~10:30	人間科学部「児童文学」講義 朗読発表会	60名
12月8日(土)	10:30~11:30	西新街歩き(福岡商工会議所)	11名
12月10日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	40名
12月11日(火)	10:30~12:00	信愛女学院高等学校	40名
12月12日(水)	11:00~12:00	福岡アーカイブ研究会	7名
12月17日(月)	10:15~10:30	福岡県立大川樟風高等学校	35名
	11:00~12:00	神学部チャペル	30名
12月18日(火)	13:00~13:10	東筑紫学園高等学校	30名
	14:00~14:10	熊本県立上天草高等学校	25名
12月20日(木)	14:00~14:30	Green Seminar 2012	68名
1月7日(月)	11:00~12:00	神学部チャペル	38名
1月9日(水)	15:00~18:00	チャペルクワイア練習	27名
1月18日(金)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	55名
1月19日(土)	18:00~21:00	福岡バツハコレギウム	50名
1月20日(日)	13:30~18:30	福岡バツハコレギウム	311名
	11:00~12:00	神学部チャペル	42名
1月21日(月)	12:00~17:00	フォトオフィスabc	6名
1月22日(火)	10:00~16:45	神学部「教会音楽研究」講義	7名
1月23日(水)	10:00~15:30	神学部「教会音楽研究」講義	8名
1月24日(木)	15:20~16:00	Immanuel Ulsan Church(韓国)	30名
1月26日(土)	13:00~17:30	国際文化研究科冬季研究発表会	29名
2月4日(月)	10:00~13:30	チャペルクワイア練習	15名
2月5日(火)	10:00~13:00	チャペルクワイア練習	15名
2月6日(水)	10:00~13:50	チャペルクワイア練習	19名
2月7日(木)	10:00~14:00	チャペルクワイア練習	15名
2月8日(金)	10:00~13:30	チャペルクワイア練習	15名
2月13日(水)	10:00~13:30	チャペルクワイア練習	15名
3月2日(土)	10:00~11:00	「西新町歩き」	13名
3月12日(火)	10:00~13:00	就職課企業説明会	38名
3月22日(金)	12:30~15:30	神学部卒業礼拝	200名
3月23日(土)	10:00~13:00	結婚式	80名
3月30日(土)	12:30~17:00	MI・らん・NE	10名
3月31日(日)	10:00~17:00	MI・らん・NE	110名

5. その他

2012年度 寄贈・購入図書一覧

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 Vol. 47 No. 4 通巻526号	財団法人 日本博物館協会	2012年	財団法人 日本博物館協会
同志社史料センター	同志社スポーツ若草萌えて一	同志社史料センター	2012年	同志社史料センター
片岡千鶴子	「キリシタンの潜伏と信仰伝承」長崎純心大学博物館研究代20輯	長崎純心大学博物館	2011年	長崎純心大学博物館
長崎純心大学博物館	純心博物館だより	長崎純心大学博物館	2011年	長崎純心大学博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告第10号	九州大学総合研究博物館	2012年	九州大学総合研究博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース No.17	九州大学総合研究博物館	2012年	九州大学総合研究博物館
関西大学博物館	東洋のやきものー日本・朝鮮・中国ー	関西大学博物館	2012年	関西大学博物館
	Asiage vol.24	九州国立博物館	2012年	九州国立博物館
キリスト教資料展示室運営委員会	西南学院大学キリスト教資料展示室 展示品案内	西南学院大学宗教部	1993年	小林洋一
キリスト教資料展示室運営委員会	西南学院大学キリスト教資料展示室 展示品案内	西南学院大学宗教部	1998年	小林洋一
関西大学博物館	東洋のやきものー日本・朝鮮・中国ー	関西大学博物館	2012年	関西大学博物館
神学部学生会 対外委員会 竹田進一	道 No.36	西南学院大学神学部学生会	2012年	小林洋一
明治大学学芸員養成過程	MUSEUM STUDY no.23 2011年度明治大学学芸員養成過程 紀要	明治大学学芸員養成過程	2012年	明治大学学芸員養成過程
明治大学学芸員養成過程	MUSEOLOGIST No.27 2011年度 明治大学学芸員養成過程 年報	明治大学学芸員養成過程	2012年	明治大学学芸員養成過程
	収蔵品目録 考古	大分県立歴史博物館	2012年	大分県立歴史博物館
	収蔵品目録 歴史3	大分県立歴史博物館	2012年	大分県立歴史博物館
	ミュージアム・レター 第19号	学習院大学史料館	2012年	学習院大学史料館
	西南学院月報 No.728	学院本部総務部秘書課	2012年	
東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum	東北大学総合学術博物館	2012年	東北大学総合学術博物館
國學院大學博物館学研究室・博物館学教育研究情報センター	國學院大學大学院「高度博物館学教育プログラム」最終報告	國學院大學博物館学研究室・博物館学教育研究情報センター	2012年	國學院大學博物館学研究室
國學院大學博物館学研究室	國學院大學 院友学芸員 2012 No.5	國學院大學博物館学研究室	2012年	國學院大學博物館学研究室
関西学院大学博物館開設準備室	アンデスのデザイン	関西学院大学博物館開設準備室	2012年	関西学院大学博物館開設準備室
関西学院大学博物館開設準備室	高精細画像でみる和鏡	関西学院大学博物館開設準備室	2012年	関西学院大学博物館開設準備室
福岡市美術館	平成22年度 福岡市美術館活動の記録	福岡市美術館	2012年	福岡市美術館
福岡市総合図書館	平成23年度 古文書資料目録17	福岡市総合図書館	2012年	福岡市総合図書館
福岡市総合図書館	福岡市総合図書館 研究紀要 第12号	福岡市総合図書館	2012年	福岡市総合図書館
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 Vol. 47 通巻527号	財団法人 日本博物館協会	2012年	財団法人 日本博物館協会
玉川大学教育博物館	博物館ニュースSHU No.38	玉川大学教育博物館	2012年	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 紀要 第9号	玉川大学教育博物館	2012年	玉川大学教育博物館
	キリシタン墓碑の調査	片岡瑠美子(長崎純心大学)	2012年	長崎純心大学人文学部比較文化学 科教授 片岡瑠美子
熊本大学五高記念館	第五高等学校の生徒出陣 熊本大学五高記念館叢書 第一集	熊本大学五高記念館	2012年	熊本大学五高記念館
鹿児島大学総合研究博物館	やきものづくりのの考古学ー鹿児島県の縄文土器から薩摩焼までー	鹿児島大学総合研究博物館	2012年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 No.10	鹿児島大学総合研究博物館	2012年	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 News Letter No.29	鹿児島大学総合研究博物館	2012年	鹿児島大学総合研究博物館
八女市教育委員会	埋蔵文化財調査報告書VI 八女市文化財調査報告書 第90集	八女市教育委員会	2011年	八女市教育委員会
八女市教育委員会	牛館遺跡 八女市文化財調査報告書 第91集	八女市教育委員会	2011年	八女市教育委員会
八女市教育委員会	深田遺跡(2-3次調査) 第92集	八女市教育委員会	2012年	八女市教育委員会
八女市教育委員会	窪田遺跡(2-4次調査)八女市文化財調査報告書 第93集	八女市教育委員会	2012年	八女市教育委員会
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol.97	大分市歴史資料館	2011年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol.98	大分市歴史資料館	2012年	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	平成23年度特別展(第30回)大分の君 飛鳥と豊後をつないだ人	大分市歴史資料館	2011年	大分市歴史資料館
東京文化財研究所 企画情報部	TOBUNKENNEWS no.47	東京文化財研究所	2011年	東京文化財研究所
東京文化財研究所 企画情報部	TOBUNKENNEWS no.48	東京文化財研究所	2012年	東京文化財研究所
東京文化財研究所 企画情報部	TOBUNKENNEWS DIGEST no.11	東京文化財研究所	2012年	東京文化財研究所
	関西大学博物館紀要 第18号	関西大学博物館	2012年	関西大学博物館
関西大学博物館	関西大学博物館叢報「所陵」 No.64	関西大学博物館	2012年	関西大学博物館
	MUSEUM MEISTER	北海道大学総合博物館ミュージアムマイスター事務局	2012年	北海道大学総合博物館
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第57号	東京大学史料編纂所	2012年	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター
	教主耶穌書集 The Gospel in Chinese Art		2012年	小林洋一
	京都大学大学文書館だより 第22号	京都大学大学文書館	2012年	京都大学大学文書館
全日本博物館学会事務局	学会ニュース No.100	明治大学学芸員養成課程実習室内	2012年	全日本博物館学会事務局
東京国立博物館・九州国立博物館	東京国立博物館所蔵 横河民輔コレクション 中国陶磁名賈賤	九州国立博物館	2012年	九州国立博物館
九州国立博物館	日本医師のことはじめまじないから解体新書まで一	九州国立博物館	2012年	九州国立博物館
赤司義彦、松尾かをる	東風西声 第7号	九州国立博物館	2012年	九州国立博物館
九州国立博物館	平山郁夫 シルクロードの軌跡	西日本新聞社・NHK福岡放送局・NHKプラネット九州	2012年	九州国立博物館
大隈昭二(会誌「恵迪」編集長)	「都ぞ弥生」百年記念誌	恵迪寮同窓会会長	2012年	北海道大学総合博物館
	都ぞ弥生百年記念展のしおり		2012年	北海道大学総合博物館
緒方泉、丸尾いと、松村裕子、三辻佳代、関岡絵梨花、徳永あずさ、木村真実、株式会社西日本新聞印刷	平成22・23年度九州産業大学美術館年報報告書No.5	九州産業大学美術館	2012年	九州産業大学美術館
松山ちあき	東アジアの古代史を楽しむ会報Vol.5	東アジアの古代史を楽しむ会	2012年	東アジアの古代史を楽しむ会

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
東京都江戸東京博物館 事業企画課 資料係	東京都江戸東京博物館資料目録 館蔵地図目録2 明治の地図	東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館	2012年	東京都江戸東京博物館
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館 調査報告書 第25集 江戸の町名主	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館	2012年	東京都江戸東京博物館
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館 調査報告書 第26集 喜多川周之コレクション第2集	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館	2012年	東京都江戸東京博物館
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館紀要 第2号	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館	2012年	東京都江戸東京博物館
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人 徳川記念財 会報vol.19	公益財団法人 徳川記念財団	2012年	公益財団法人 徳川記念財団
「学芸員の星たち」編集委員会	学芸員の星たち	筑紫女学園大学	2012年	筑紫女学園大学
姫路市書写の里・美術工芸館	姫路市書写の里・美術工芸館だより vol.66 五風十雨	姫路市書写の里・美術工芸館	2012年	姫路市書写の里・美術工芸館
小都市教育委員会	大保横枕遺跡2 A区(本文編)	小都市教育委員会	2012年	小都市埋蔵文化財調査センター
小都市教育委員会	大保横枕遺跡2 A区(表・図版編)	小都市教育委員会	2012年	小都市埋蔵文化財調査センター
小都市教育委員会	大保横枕遺跡2 B区	小都市教育委員会	2012年	小都市埋蔵文化財調査センター
小都市教育委員会	大保横枕遺跡2 C区	小都市教育委員会	2012年	小都市埋蔵文化財調査センター
小都市教育委員会	大保横枕遺跡2 D区	小都市教育委員会	2012年	小都市埋蔵文化財調査センター
小都市教育委員会	大保横枕遺跡2 付図	小都市教育委員会	2012年	小都市埋蔵文化財調査センター
立正大学博物館学芸員課程	立正博物館課程年報 第14号	立正大学博物館学芸員課程	2012年	立正大学博物館
学習院大学史料館	学習院大学史料館紀要第18号	学習院大学史料館	2012年	学習院大学史料館
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.47 No.7	財団法人 日本博物館協会	2012年	財団法人 日本博物館協会
大石一久	南島原市世界遺産地域調査報告書 日本キリシタン墓碑総覧	南島原市教育委員会 (世界遺産登録推進室)	2012年	南島原市教育委員会世界遺産登録推進室
	「鯨組主中尾家屋敷」公開記念 企画展 海にいきる—江戸時代の唐津のくらしと玄界灘—	佐賀県立名護屋城博物館	2012年	佐賀県立名護屋城博物館
財団法人鍋島報効会	徴古館報 第24号	財団法人鍋島報効会	2012年	財団法人鍋島報効会
財団法人鍋島報効会	佐賀藩 長崎警備のはじまり	財団法人鍋島報効会	2012年	財団法人鍋島報効会
	学会ニュース No.101	全日本博物館学会	2012年	
神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館	神戸大学大学院海事科学研究科 海事博物館研究年報 No.39 2011	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館	2012年	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館
神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館	神戸大学 大学院 海事科学研究科 海事博物館 企画展図録	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館	2012年	神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館
尚古集成館	港湾都市鹿児島と島津氏 一海を見ていた殿様たち—	尚古集成館	2012年	尚古集成館
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 Vol.47 No.8 通巻530号	財団法人 日本博物館協会	2012年	財団法人 日本博物館協会
財団法人 日本博物館協会	博物館の原則 博物館関係者の行動規範	財団法人 日本博物館協会	2012年	財団法人 日本博物館協会
九州保健福祉大学学芸員養成課程	九州保健福祉大学 博物館年報1	九州保健福祉大学学芸員養成課程	2012年	九州保健福祉大学
佐賀県立佐賀城本丸歴史館 福井尚秀	元茶翁没後二五〇年記念図録—佐賀県内所在の関係資料を中心に—	特定非営利活動法人高遊外茶翁顕彰会	2012年	有限会社 白水
九州国立博物館	美のワンダーランド十五人の京絵師	九州国立博物館	2012年	九州国立博物館
九州国立博物館・長崎県立対馬歴史民俗資料館	重要文化財新指定記念 日朝交流の軌跡 対馬宗家文書8万点の調査を終えて	九州国立博物館・長崎県立対馬歴史民俗資料館	2012年	九州国立博物館
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター 第58号	東京大学史料編纂所	2012年	東京大学史料編纂所
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	2011年度東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館年報3	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	2012年	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
大刀洗町教育委員会	福岡県指定文化財 今村教会堂 建築的調査 建築史的調査 報告書	大刀洗町教育委員会	2012年	大刀洗町教育委員会
	和の史 思文閣古書資料目録 第二百二十九号	思文閣出版 古書部	2012年	思文閣出版 古書部
玉川大学教育博物館	博物館ニュースSHU No.39	玉川大学教育博物館	2012年	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 館報 第10号 2011年度	玉川大学教育博物館	2012年	玉川大学教育博物館
学習院大学史料館	ミュージアム・レター 第20号	学習院大学史料館	2012年	学習院大学史料館
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.47 No.10 通巻532号	財団法人 日本博物館協会	2012年	財団法人 日本博物館協会
天草市立天草キリシタン館	天草キリシタン館 館報 第1号	天草市立天草キリシタン館	2012年	天草市立天草キリシタン館
國學院大學伝統文化リサーチセンター	若木ヶ丘のアルケオロジ	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	祭祀儀礼と景観の考古学	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	國學院大學学術資料館考古学資料館紀要	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	神道関係文化財報告書「東日本編」	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	神道関係文化財報告書「西日本編」	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	「モノ」と心に学ぶ伝統の知恵と実践	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	國學院大學研究開発推進機構紀要 第4号	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	伝統文化のモノと心 News Letter No.1	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2008年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	伝統文化のモノと心 News Letter No.2	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2009年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	伝統文化のモノと心 News Letter No.3	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2010年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	伝統文化のモノと心 News Letter No.4	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2011年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	伝統文化のモノと心 News Letter No.5	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	考古学から見るモノと心	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學研究開発推進機構 学術資料館 考古学資料館部門	島根県飯石郡飯南町 琴引山学術調査報告	國學院大學研究開発推進機構 学術資料館 考古学資料館部門	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	國學院大學伝統文化リサーチセンター研究紀要	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	國學院大學伝統文化リサーチセンター資料館平成23年度特別展 まつりの継承	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
國學院大學伝統文化リサーチセンター	神道のカタチとところ	國學院大學伝統文化リサーチセンター	2012年	國學院大學伝統文化リサーチセンター
駒澤大学禅文化歴史博物館	企画展「曹洞宗の教育と出版」図録「禅文化歴史博物館所蔵版木資料Ⅰ」	駒澤大学禅文化歴史博物館	2012年	駒澤大学禅文化歴史博物館
	長崎街道・冷水峠越400年	筑紫野市歴史博物館	2012年	筑紫野市歴史博物館
	学会ニュース No.102	全日本博物館学会事務局	2012年	
小林弘季	出帆 第五号	京都古書研究会	2012年	キクオ書店
	Asiage vol.26	九州国立博物館	2012年	九州国立博物館
公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森	上野原縄文の森だより Vol.23	公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森	2012年	公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館年報第4号2009—2010	九州大学総合研究博物館	2012年	九州大学総合研究博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュースNo.18	九州大学総合研究博物館	2012年	九州大学総合研究博物館
東京文化財研究所 企画情報部	TOBUNKENNEWS no.49	東京文化財研究所	2012年	東京文化財研究所
	東京文化財研究所概要2012	東京文化財研究所	2012年	東京文化財研究所
関西大学博物館	阡陵 No.65	関西大学博物館	2012年	関西大学博物館

著者・編者	書名	発行	発行年	寄贈元
関西学院大学博物館開設準備室	新劇、輝きの'60年代 大阪労演とその時代Ⅱ 1960-1969	関西学院大学博物館開設準備室	2012年	関西学院大学博物館開設準備室
ベルリン国立美術館、国立西洋美術館、TBSテレビ	ベルリン国立美術館**学べるヨーロッパ美術の400年	国立西洋美術館、TBSテレビ2012	2012年	九州国立博物館
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第59号	東京大学史料編纂所	2012年	東京大学史料編纂所
南島原市	南島原歴史遺産	南島原市	2012年	南島原市
大分県立歴史博物館	おおいた歴博 第35号	大分県立歴史博物館	2012年	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報 2011	大分県立歴史博物館	2012年	大分県立歴史博物館
八代市立博物館未来の森ミュージアム	入城400年記念 八代城主・加藤正方の遺産	八代市立博物館未来の森ミュージアム	2012年	八代市立博物館未来の森ミュージアム
小郡市教育委員会	小郡市内伝承調査活用事業報告書 小郡市文化財調査報告書第267集	小郡市教育委員会	2012年	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	小郡市史編纂委員会資料目録[第7集]	小郡市教育委員会	2007年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市史編纂委員会資料目録[第8集]	小郡市教育委員会	2008年	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	小郡市史編纂委員会資料目録[第9集]	小郡市教育委員会	2009年	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	小郡市史編纂委員会資料目録[第10集]	小郡市教育委員会	2010年	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	小郡市史編纂委員会資料目録[第11集]	小郡市教育委員会	2011年	小郡市埋蔵文化財調査センター
小郡市教育委員会	小郡市史編纂委員会資料目録[第12集]	小郡市教育委員会	2012年	小郡市埋蔵文化財調査センター
京都大学文学書館	京都大学文学書館だより 第23号	京都大学文学書館	2012年	京都大学文学書館
京都大学文学書館	京都大学文学書館 企画展 屏風に名を残した教員たち	京都大学文学書館	2012年	京都大学文学書館
姫路市書写の里・美術工芸館	姫路市書写の里・美術工芸館だより vol.68 五風十雨	姫路市書写の里・美術工芸館	2012年	姫路市書写の里・美術工芸館
関西学院大学博物館開設準備室	高精細画像による文化財研究 第2号 金属工芸の小宇宙—高精細画像でみる刀装具—	関西学院大学博物館開設準備室	2012年	関西学院大学博物館開設準備室
公益財団法人 徳川記念財団	公益財団法人徳川記念財団 会報vol.20	公益財団法人 徳川記念財団	2012年	公益財団法人 徳川記念財団
江田真毅・成田佳子	北海道大学総合博物館ニュース第26号	北海道大学総合博物館	2012年	北海道大学総合博物館
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.48 No.1	財団法人 日本博物館協会	2012年	
カトリック浦上教会	浦上キリシタン資料 四番崩れの際に没収された教理書・教会暦など	カトリック浦上教会	2012年	カトリック浦上教会
	大分歴博37号	大分県立歴史博物館	2012年	大分県立歴史博物館
櫻井成昭(大分県立歴史博物館)	おおいた歴博 No.38	大分県立歴史博物館	2012年	大分県立歴史博物館
	九州国立博物館 季刊情報誌 Asiage Vol.27	九州国立博物館	2013年	九州国立博物館
東京国立博物館・名古屋ポストン美術館・九州国立博物館・大阪市立美術館・ポストン美術館・NHK・NHKプロモーション	ポストン美術館 日本美術の至宝	NHK・NHK プロモーション	2012年	九州国立博物館
	江戸の粋、印籠 フィンランド・クレスコレクション	九州国立博物館	2012年	九州国立博物館
	大分歴博37号	大分県立歴史博物館	2012年	大分県立歴史博物館
櫻井成昭	おおいた歴博 No.38	大分県立歴史博物館	2012年	大分県立歴史博物館
—	同志社大学歴史資料館 館報 第15号	同志社大学歴史資料館	2012年	同志社大学歴史資料館
小郡市埋蔵文化財調査センター	平成24年度小郡市埋蔵文化財調査センター後期特別展 弥生のムラ〜環濠に囲まれた風景〜	小郡市教育委員会	2013年	小郡市埋蔵文化財調査センター
君塚仁彦 名児耶明	現代に生きる博物館	有斐閣	2012年	有斐閣
神奈川県立歴史博物館	特別展 ベリーの顔・貌・カオ―「黒船」の使者の虚像と実像―	神奈川県立歴史博物館	2012年	神奈川県立歴史博物館
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.48 No.2 通巻536号	財団法人 日本博物館協会	2013年	
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第60号	東京大学史料編纂所	2013年	東京大学史料編纂所
	学会ニュース No.103	全日本博物館学会事務局	2013年	
佐野常民記念館企画展等検討委員会	企画展「佐野常民 美へのまなざし―日赤所蔵絵画展―」	佐野市佐野常民記念館	2012年	佐野常民記念館
財団法人 日本博物館協会	博物館研究 Vol.48 No.3	財団法人 日本博物館協会	2013年	
	2012年度 校外学習報告集	千葉県立国府台高等学校	2013年	千葉県立国府台高等学校
鹿児島国際大学文化学部博物館実習施設・考古学ミュージアム	鹿児島国際大学考古学ミュージアム調査研究報告 第10集	鹿児島国際大学文化学部博物館実習施設・考古学ミュージアム	2013年	鹿児島国際大学文化学部博物館実習施設・考古学ミュージアム
東北学院大学 民俗学実習文化財レスキュー班	社鹿半島の暮らしを未来に伝えよう―東北学院大学文化財レスキュー展	東北学院大学博物館	2012年	東北学院大学博物館
姫路市書写の里・美術工芸館	姫路市書写の里 美術工芸館だより VOL.69	姫路市書写の里・美術工芸館	2013年	姫路市書写の里・美術工芸館
立命館大学文学部NEWS LETTER編集委員会	学芸員NEWS LETTER 第25号	立命館大学文学部NEWS LETTER編集委員会	2013年	立命館大学文学部事務局
	宇美町内遺跡発掘調査報告書 宇美町文化財調査報告書第18集	宇美町教育委員会	2013年	宇美町教育委員会
	宇美町内遺跡等分布地図 宇美町文化財調査報告書第19集	宇美町教育委員会	2013年	宇美町教育委員会
福岡市情報プラザ	福岡市 文化・スポーツ・レクリエーションガイド 2013 たいたいBOOK	福岡市情報プラザ	2013年	福岡市情報プラザ
大分県立先哲史料館	史料館研究紀要 第一七号	大分県立先哲史料館	2013年	大分県立先哲史料館
主幹研究員 大津祐司	豊の国情報ライブラリー 大分県立先哲史料館 平成24(2012)年度秋季企画展 江戸への旅―一年貢米と上乗人―	大分県立先哲史料館	—	大分県立先哲史料館
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第261集「上岩田遺跡IV」	小郡市教育委員会	2012年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第262集「吹上南立石遺跡2」	小郡市教育委員会	2012年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第263集「三沢寺小路遺跡6」	小郡市教育委員会	2012年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第264集「小坂井屋敷遺跡3」	小郡市教育委員会	2012年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第265集「福童町遺跡9」	小郡市教育委員会	2012年	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	国指定史跡 小郡官衙遺跡群 小郡官衙遺跡・上岩田遺跡 保存管理計画書 第1分冊	小郡市教育委員会	2012年	小郡市教育委員会
長崎市文化振興課	長崎アートプロジェクトin海外	長崎市文化振興課	2012年	長崎市文化振興課
福岡市博物館	平成21(2009)年度収集収蔵品目録	福岡市博物館	2009年	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館年報19	福岡市博物館	2010年	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館研究紀要 第22号	福岡市博物館	2012年	福岡市博物館
福岡市博物館	平成21(2009)年度収集収蔵品目録	福岡市博物館	2009年	福岡市博物館

西南学院大学博物館組織

大学博物館

館長 宮崎克則（兼任、国際文化学部教授）（2013年4月1日着任）

専門：日本近世史

江戸時代の風俗・社会・文化・産業・政治について記録史料を利用しながら研究。

江戸の民衆文化を主体にシーボルトなどの異文化交流史

学芸員 安高 啓明（専任）

専門：日本近世史、法制史

江戸幕府司法制度や禁教政策の研究。海外交流史や博物館史、大学博物館についても調査している。

博物館事務室

職員 伊藤 邦厚（参事）

臨時職員 貞清 世里（本学国際文化研究科博士後期課程）

内島 美奈子（本学国際文化研究科研究生）

吉松 由希（本学国際文化研究科博士前期課程）

山尾 彩香（本学国際文化研究科博士前期課程）

謝 婧（本学国際文化研究科博士前期課程）

方 圓（本学国際文化研究科博士前期課程）

下園 知弥（本学国際文化研究科博士前期課程）

出口 智佳子（本学国際文化研究科博士前期課程）

博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

委員長 宮崎 克則（博物館長）

委員 朝立 康太郎（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）

天野 有（神学部長 本学神学部教授）

高木 幸二（大学事務長）

安高 啓明（博物館専門的職員（学芸員） 博物館学芸員）

伊藤 厚（博物館事務室責任者・参事 事務局嘱託職員）

博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

後藤 新治（学芸員資格をもつ大学教員 本学国際文化学部教授）

朝立 康太郎（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）

高木 幸二（大学事務職員 本学大学事務長）

石田 美孝（学外の博物館関係者 福岡大学付属若葉高等学校校長）

有馬 学（学外博物館関係者 福岡市博物館館長）

三輪 嘉六（学外博物館関係者 九州国立博物館館長）

（2013年9月現在）

西南学院大学博物館年報 第5号
2012

発行日 2013年9月30日

編集発行 西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003